

**浦添市公共施設適正配置計画
(案)**

**浦添市
令和3年3月**

目次

第1章	はじめに	
1.	計画の背景と目的	1
2.	計画の位置付け	1
3.	計画期間	2
4.	計画の対象施設	3
第2章	地域別施設配置状況等の整理	
1.	地域別カルテ	5
(1)	北地域	6
(2)	中央北地域	8
(3)	東地域	10
(4)	中央南地域	12
(5)	中央西地域	14
(6)	南地域	16
(7)	西地域	18
(8)	新都市形成地域	20
第3章	課題の整理	
1.	人口の課題	22
2.	公共施設の課題	23
3.	地域特性別の課題	24
第4章	公共施設適正配置方針	
1.	総合管理計画で定める公共施設マネジメントの基本方針	26
2.	適正配置方針	27
(1)	適正配置の基本方針	27
(2)	再配置の検討	28
(3)	圏域の設定	31
3.	再配置方策の検討	33
第5章	適正配置計画	
1.	地域別適正配置計画	34
(1)	北地域	34
(2)	中央北地域	35
(3)	東地域	36
(4)	中央南地域	37
(5)	中央西地域	39
(6)	南地域	40
(7)	西地域	41
(8)	新都市形成地域	42

第6章 計画推進にあたって

(1) 公共施設等総合管理計画の見直し	43
(2) 公共ファシリティマネジメント推進チームによる事業推進	43
(3) 事業計画（アクションプラン）の策定	43
(4) PPP（公民連携）の推進	43

第1章 はじめに

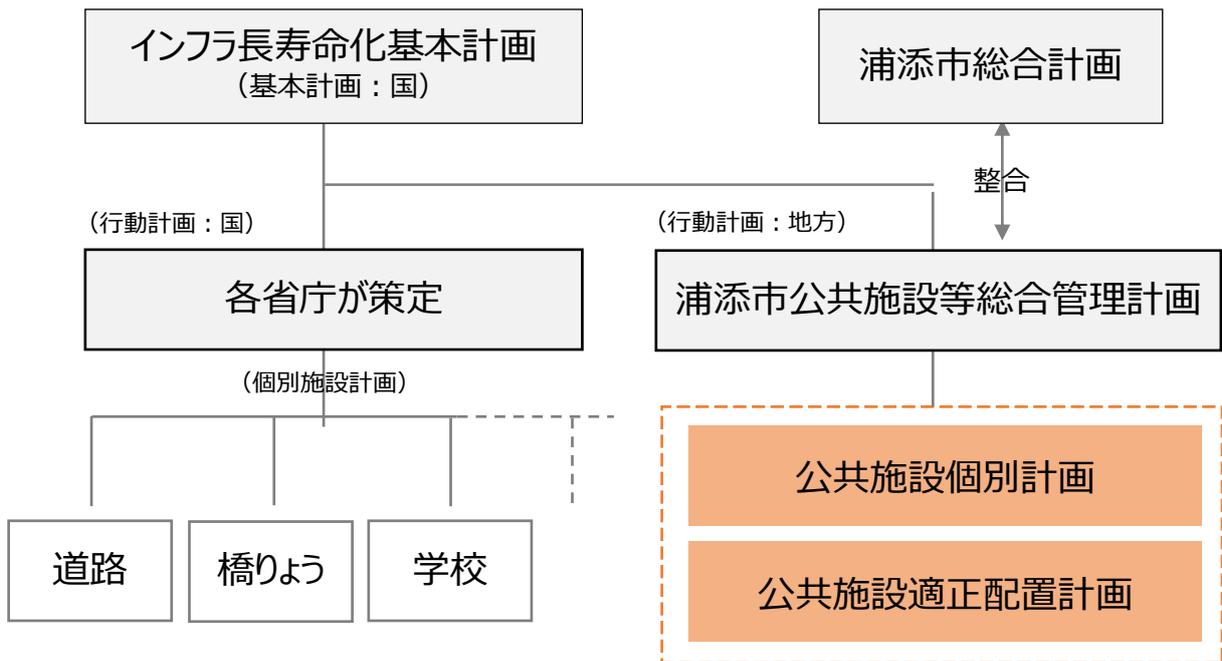
1. 計画の背景と目的

浦添市（以下「本市」という。）では平成 28 年度に本市の公共施設等の状況を客観的に把握・分析し、今後の更新費用の見込みを明らかにするとともに、公共施設マネジメントの基本方針等を示した「浦添市公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）」を策定しました。

本市では、総合管理計画で定めた基本的な考え方等に基づき、公共施設を対象に、将来にわたって市民サービスを維持していくため、今ある公共施設の集約化や複合化等の具体的な方向性を示すことを目的に「浦添市公共施設個別計画」（以下、「個別計画」という。）を策定することとしており、同時に、「個別計画」から今後を見据えた公共施設のあり方を計画的に推進するための「浦添市公共施設適正配置計画」（以下、「本計画」という。）を策定します。

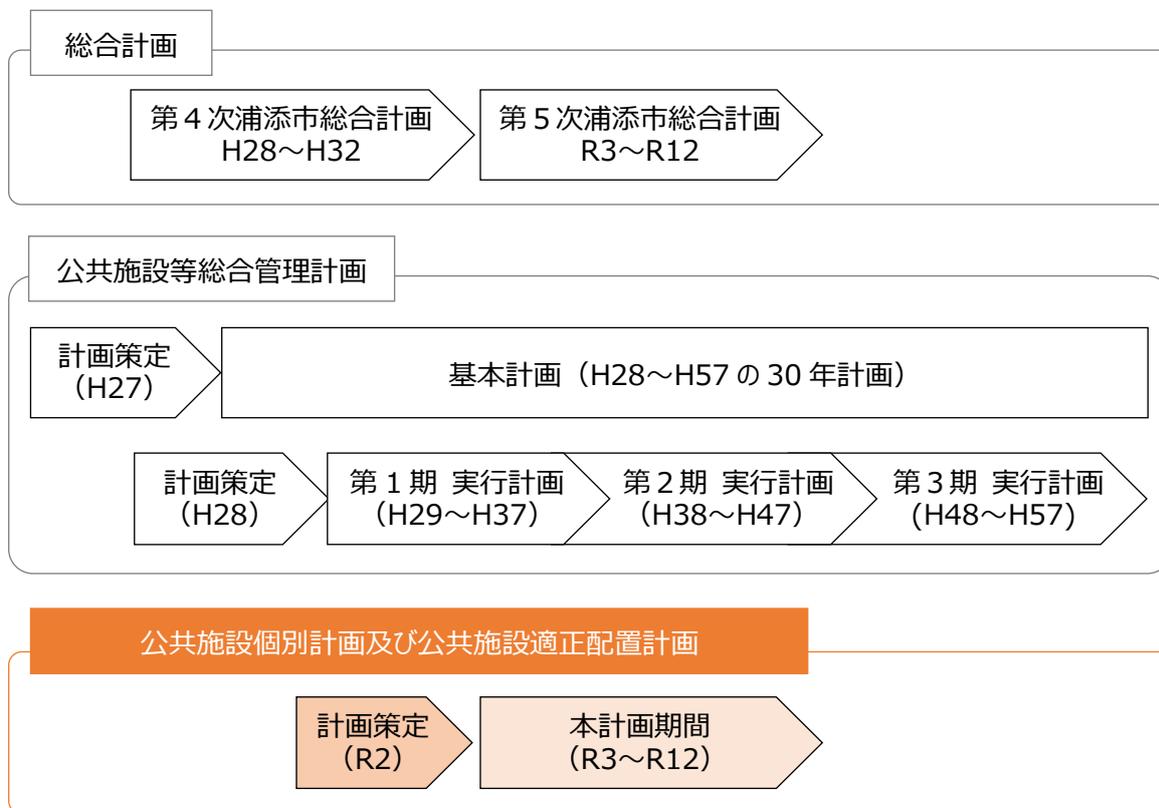
2. 計画の位置付け

本計画は平成 28 年に策定した浦添市公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき、個別施設の老朽化状況や利用状況を施設ごとに評価し、施設ごとの保全や適正配置を示す計画として策定するものです。



3. 計画期間

本計画期間は、令和 3 年度から令和 12 年度までの 10 年間とします。



4. 計画の対象施設

■ 対象施設の一覧表

施設名	施設分類	エリア	延床面積 (㎡)
浦添市経塚ゆいまーるセンター	市民文化系施設	中央南地域	1,525
浦添市みやぎ希望の森コミュニティセンター	市民文化系施設	中央西地域	830
浦添市てだこホール	市民文化系施設	中央南地域	11,097
城間地区公民館	社会教育系施設	中央西地域	620
浦添市立中央公民館	社会教育系施設	中央南地域	1,550
浦添市立中央公民館分館	社会教育系施設	中央北地域	1,632
浦添グスク・よどれ館	社会教育系施設	東地域	295
歴史にふれる館	社会教育系施設	北地域	1,457
浦添市立図書館	社会教育系施設	中央南地域	2,807
浦添市美術館	社会教育系施設	中央南地域	3,361
浦添市温水プールまじゅんらんど	ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	中央南地域	3,543
浦添市陸上競技場	ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	中央南地域	1,134
浦添市民体育館	ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	中央南地域	7,700
浦添市多目的屋内運動場	ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	中央南地域	3,692
浦添市民相撲場	ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	中央南地域	46
浦添市民球場	ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	中央南地域	1,957
浦添市立教育研究所	学校教育系施設	中央南地域	440
浦添市立学校給食浦添共同調理場	学校教育系施設	東地域	1,570
浦添市立学校給食当山共同調理場	学校教育系施設	東地域	3,064
浦添市立若草児童センター	子育て支援施設	中央北地域	341
浦添市立内間児童センター	子育て支援施設	南地域	361
浦添市立西原児童センター	子育て支援施設	東地域	410
浦添市立宮城ヶ原児童センター	子育て支援施設	中央西地域	436
浦添市立まちなと児童センター	子育て支援施設	中央北地域	527
浦添市立浦城っ子児童センター	子育て支援施設	中央北地域	562
浦添市立森の子児童センター	子育て支援施設	南地域	560
浦添市立うらそえぐすく児童センター	子育て支援施設	中央南地域	598
浦添市立前田ユブシが丘児童センター	子育て支援施設	中央南地域	682
浦添市内間保育所	子育て支援施設	南地域	728
浦添市大平保育所	子育て支援施設	中央南地域	985
浦添市宮城ヶ原保育所	子育て支援施設	中央西地域	1,022
仲西こども園（公私連携幼保連携型認定こども園）	子育て支援施設	中央西地域	1,035
神森こども園（公私連携幼保連携型認定こども園）	子育て支援施設	南地域	668
浦添市立浦添こども園	子育て支援施設	中央南地域	725
浦城こども園（公私連携幼保連携型認定こども園）	子育て支援施設	中央北地域	1,047
内間こども園（公立幼稚園型認定こども園）	子育て支援施設	南地域	725

施設名	施設分類	エリア	延床面積 (㎡)
牧港幼稚園	子育て支援施設	中央北地域	734
当山幼稚園	子育て支援施設	東地域	1,047
港川幼稚園	子育て支援施設	中央北地域	886
沢岬幼稚園	子育て支援施設	中央南地域	488
宮城幼稚園	子育て支援施設	中央西地域	578
前田こども園（公私連携幼保連携型認定こども園）	子育て支援施設	中央南地域	685
サン・アビリティーズうらそえ	保健・福祉施設	中央西地域	2,172
浦添市かりゆしセンター	保健・福祉施設	東地域	1,252
浦添市老人福祉センター	保健・福祉施設	中央南地域	959
浦添市地域福祉センター	保健・福祉施設	南地域	855
浦添市保健相談センター	保健・福祉施設	中央南地域	2,125
障がい児放課後児童健全育成施設ひまわり学童クラブ	保健・福祉施設	中央南地域	130
仲西放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	中央西地域	245
神森放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	南地域	58
浦城放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	中央北地域	192
当山放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	東地域	238
内間放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	南地域	235
港川放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	中央北地域	225
浦添放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	中央南地域	227
沢岬放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	中央南地域	300
浦添市母子生活支援施設浦和寮	保健・福祉施設	中央西地域	1,414
浦添市庁舎	行政系施設	中央南地域	24,155
浦添市消防本部	行政系施設	東地域	3,313
内間出張所	行政系施設	南地域	926
牧港出張所	行政系施設	北地域	671
浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター	その他	中央南地域	1,487
浦添市施設型共同墓	その他	東地域	477
浦添市リサイクルプラザ	その他	西地域	5,930
浦添市産業振興センター・結の街	その他	西地域	5,353
浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク	その他	西地域	629

※学習等供用施設、市営住宅、グリーンセンター、小中学校等については本計画の対象外です。

第2章 地域別施設配置状況等の整理

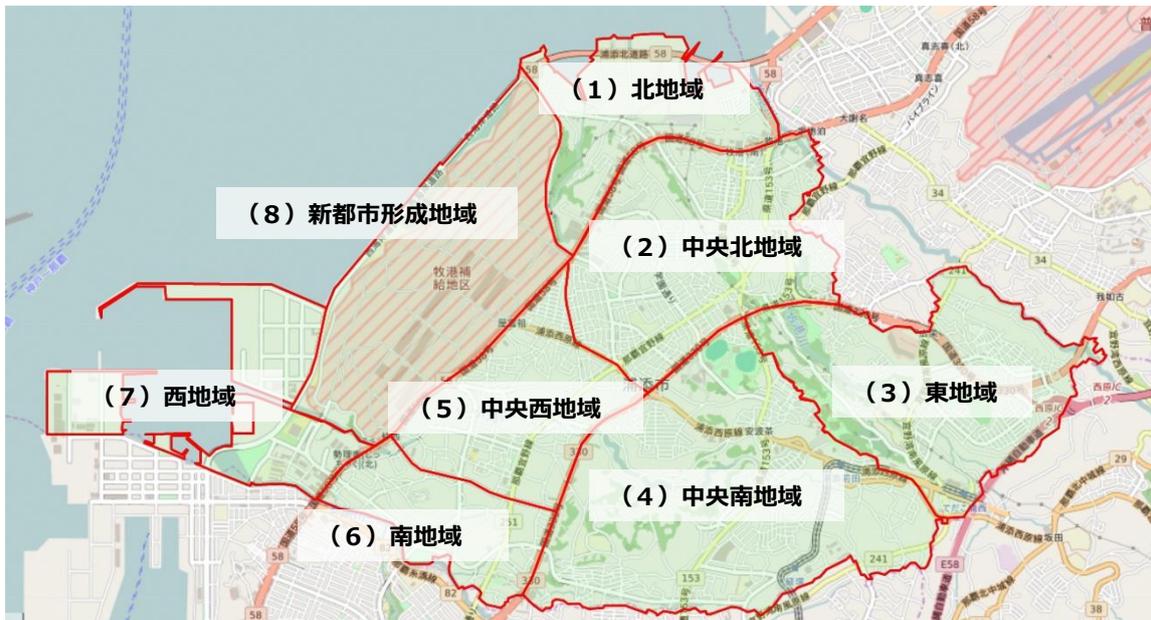
1. 地域別カルテ

浦添市都市計画マスタープランにおける地域区分をもとに、地域別カルテとして地域別施設配置状況等を整理します。

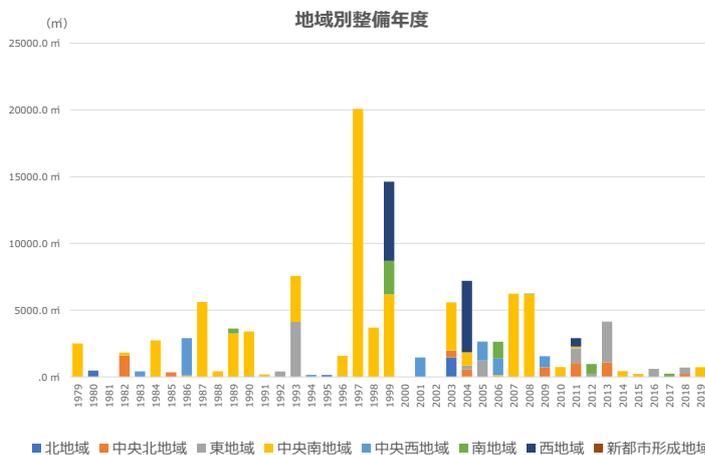
■ 地域区分

地域	区域
(1) 北地域	国道 58 号以北かつ牧港補給地区以東の産業地域
(2) 中央北地域	国道 58 号、国道 330 号及び城間大通りに囲まれた地域
(3) 東地域	国道 330 号以南かつ浦添大公園以東の地域
(4) 中央南地域	国道 330 号以南の行政等の公共・公益施設が集約する地域
(5) 中央西地域	国道 58 号、330 号、城間大通り、神森線に囲まれた旧市街地
(6) 南地域	国道 58 号、330 号、安謝川に囲まれた旧市街地
(7) 西地域	国道 58 号以西の勢理客地区および西海岸道路以西の公有水面埋立地区
(8) 新都市形成地域	牧港補給地区全体及び西海岸道路以東の公有水面埋め立て地区

■ 地域区分図

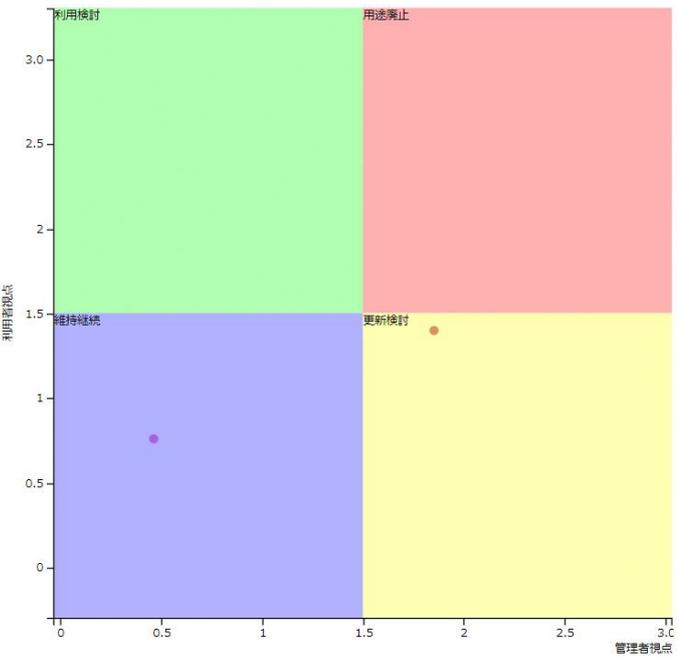


■ 地域区分図

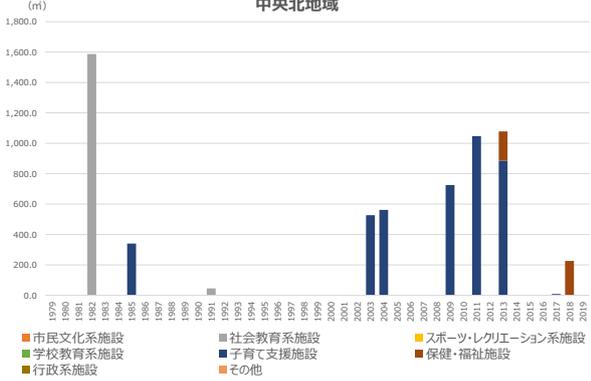
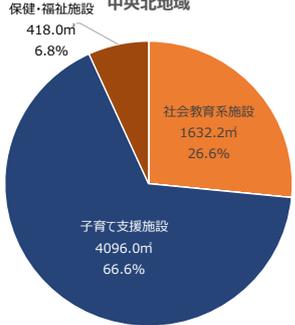


(1) 北地域

概要	位置図																																																															
<p>【人口】 (平成 31 年度時点)</p> <p>総人口 : 3,007 人</p> <p>年少人口 : 460 人 (15.3%)</p> <p>生産年齢人口 : 1,842 人 (61.3%)</p> <p>老年人口 : 705 人 (23.4%)</p> <p>【将来人口推計】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2035</th> <th>2040</th> <th>2045</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年少人口</td> <td>15.8%</td> <td>18.1%</td> <td>18.9%</td> <td>19.0%</td> <td>18.0%</td> <td>18.0%</td> </tr> <tr> <td>生産年齢人口</td> <td>60.2%</td> <td>57.4%</td> <td>57.2%</td> <td>57.9%</td> <td>59.7%</td> <td>60.9%</td> </tr> <tr> <td>老年人口</td> <td>23.9%</td> <td>24.5%</td> <td>23.8%</td> <td>23.1%</td> <td>22.2%</td> <td>21.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">北地域</p> <p style="text-align: center;">(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>年少人口</th> <th>生産年齢人口</th> <th>老年人口</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020</td> <td>491</td> <td>1,869</td> <td>743</td> <td>3,103</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>628</td> <td>1,989</td> <td>850</td> <td>3,467</td> </tr> <tr> <td>2030</td> <td>735</td> <td>2,220</td> <td>925</td> <td>3,880</td> </tr> <tr> <td>2035</td> <td>821</td> <td>2,499</td> <td>997</td> <td>4,317</td> </tr> <tr> <td>2040</td> <td>862</td> <td>2,857</td> <td>1,063</td> <td>4,782</td> </tr> <tr> <td>2045</td> <td>939</td> <td>3,179</td> <td>1,104</td> <td>5,222</td> </tr> </tbody> </table>		2020	2025	2030	2035	2040	2045	年少人口	15.8%	18.1%	18.9%	19.0%	18.0%	18.0%	生産年齢人口	60.2%	57.4%	57.2%	57.9%	59.7%	60.9%	老年人口	23.9%	24.5%	23.8%	23.1%	22.2%	21.1%	Year	年少人口	生産年齢人口	老年人口	合計	2020	491	1,869	743	3,103	2025	628	1,989	850	3,467	2030	735	2,220	925	3,880	2035	821	2,499	997	4,317	2040	862	2,857	1,063	4,782	2045	939	3,179	1,104	5,222	<p>地域区分 : 国道 58 号以北かつ牧港補給地区以東の産業地域</p> <p>構成大字 : 港川、牧港、城間</p>
	2020	2025	2030	2035	2040	2045																																																										
年少人口	15.8%	18.1%	18.9%	19.0%	18.0%	18.0%																																																										
生産年齢人口	60.2%	57.4%	57.2%	57.9%	59.7%	60.9%																																																										
老年人口	23.9%	24.5%	23.8%	23.1%	22.2%	21.1%																																																										
Year	年少人口	生産年齢人口	老年人口	合計																																																												
2020	491	1,869	743	3,103																																																												
2025	628	1,989	850	3,467																																																												
2030	735	2,220	925	3,880																																																												
2035	821	2,499	997	4,317																																																												
2040	862	2,857	1,063	4,782																																																												
2045	939	3,179	1,104	5,222																																																												
地区利用	<ul style="list-style-type: none"> ・臨海部の大半が工業系の土地利用となっている。 ・住居系は、国道 58 号北側の地区と、空寿崎周辺に見られる。 ・国道 58 号沿線に、広域的な商業機能が集積する。 ・米軍施設に隣接する地域には、まとまった緑地やシンカーが見られる。 																																																															
施設の状況	<p>延床面積 : 2,127.7 m² (地域人口 1 人当たり 0.71 m²)</p> <p style="text-align: center;">北地域</p> <p style="text-align: center;">北地域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>延床面積 (m²)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会教育系施設</td> <td>1,457.0</td> <td>68.5%</td> </tr> <tr> <td>行政系施設</td> <td>670.7</td> <td>31.5%</td> </tr> </tbody> </table>	施設種別	延床面積 (m ²)	割合 (%)	社会教育系施設	1,457.0	68.5%	行政系施設	670.7	31.5%																																																						
施設種別	延床面積 (m ²)	割合 (%)																																																														
社会教育系施設	1,457.0	68.5%																																																														
行政系施設	670.7	31.5%																																																														
地域特性	<p>本地域は沖縄の背骨ともいえる国道 58 号と海に囲まれており、海岸部においては、西海岸道路の全線開通の整備が進められる一方で、カーミージをはじめとした豊かな海浜環境や、シンカーとその周辺緑地など、自然が多く残る地域である。</p> <p>海岸沿いには、電力会社等をはじめとする産業が集積し、沿岸域には牧港漁港等の水産業が立地している。空寿崎周辺には、海浜公園の整備予定があり、今後は自然環境の保全や活用を図る地区として期待される。また、米軍住宅のなごりであるサンハイツ地区や崎原地区があり、シンカー沿いの緑豊かな低層住宅地等、良好な住宅地も見られる。</p>																																																															

<p>施設 立地 状況</p>		
<p>施設 評価</p>		
	<p>維持継続</p>	<p>歴史にふれる館</p>
	<p>更新検討</p>	<p>牧港出張所</p>
	<p>利用検討</p>	<p>—</p>
	<p>用途廃止</p>	<p>—</p>

(2) 中央北地域

概要	位置図																																																															
<p>【人口】 (平成 31 年度時点)</p> <p>総人口 : 30,435 人</p> <p>年少人口 : 5,501 人 (18.1%)</p> <p>生産年齢人口 : 19,577 人 (64.3%)</p> <p>老年人口 : 5,357 人 (17.6%)</p>																																																																
<p>【将来人口推計】</p> <table border="1" data-bbox="204 539 778 622"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2035</th> <th>2040</th> <th>2045</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年少人口</td> <td>17.8%</td> <td>16.3%</td> <td>15.4%</td> <td>14.9%</td> <td>14.5%</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>生産年齢人口</td> <td>63.9%</td> <td>63.1%</td> <td>61.8%</td> <td>59.9%</td> <td>57.5%</td> <td>56.3%</td> </tr> <tr> <td>老年人口</td> <td>18.4%</td> <td>20.6%</td> <td>22.8%</td> <td>25.2%</td> <td>28.0%</td> <td>29.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>中央北地域</p>  <table border="1" data-bbox="212 656 770 947"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>年少人口</th> <th>生産年齢人口</th> <th>老年人口</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020</td> <td>5,441</td> <td>19,584</td> <td>5,627</td> <td>30,652</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>5,072</td> <td>19,642</td> <td>6,407</td> <td>31,121</td> </tr> <tr> <td>2030</td> <td>4,841</td> <td>19,392</td> <td>7,155</td> <td>31,388</td> </tr> <tr> <td>2035</td> <td>4,687</td> <td>18,809</td> <td>7,917</td> <td>31,413</td> </tr> <tr> <td>2040</td> <td>4,528</td> <td>17,960</td> <td>8,745</td> <td>31,233</td> </tr> <tr> <td>2045</td> <td>4,337</td> <td>17,333</td> <td>9,109</td> <td>30,779</td> </tr> </tbody> </table>		2020	2025	2030	2035	2040	2045	年少人口	17.8%	16.3%	15.4%	14.9%	14.5%	14.1%	生産年齢人口	63.9%	63.1%	61.8%	59.9%	57.5%	56.3%	老年人口	18.4%	20.6%	22.8%	25.2%	28.0%	29.6%	年	年少人口	生産年齢人口	老年人口	合計	2020	5,441	19,584	5,627	30,652	2025	5,072	19,642	6,407	31,121	2030	4,841	19,392	7,155	31,388	2035	4,687	18,809	7,917	31,413	2040	4,528	17,960	8,745	31,233	2045	4,337	17,333	9,109	30,779	<p>地域区分 : 国道 58 号、国道 330 号及び城間大通りに囲まれた地域</p> <p>構成大字 : 伊祖、牧港、港川、城間、仲間、当山</p>
	2020	2025	2030	2035	2040	2045																																																										
年少人口	17.8%	16.3%	15.4%	14.9%	14.5%	14.1%																																																										
生産年齢人口	63.9%	63.1%	61.8%	59.9%	57.5%	56.3%																																																										
老年人口	18.4%	20.6%	22.8%	25.2%	28.0%	29.6%																																																										
年	年少人口	生産年齢人口	老年人口	合計																																																												
2020	5,441	19,584	5,627	30,652																																																												
2025	5,072	19,642	6,407	31,121																																																												
2030	4,841	19,392	7,155	31,388																																																												
2035	4,687	18,809	7,917	31,413																																																												
2040	4,528	17,960	8,745	31,233																																																												
2045	4,337	17,333	9,109	30,779																																																												
<p>地区利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 58 号、パイプライン通り及びサンパーク通り沿いに商業系の土地利用が見られる。 ・伊祖公園一帯や牧港川沿いに緑地が見られる。 ・その他は住居系であるが、一部に比較的規模の大きな工場が混在している。 																																																															
<p>施設の状況</p>	<p>延床面積 : 6,146.2 m² (地域人口 1 人当たり 0.21 m²)</p>  <p>中央北地域</p>  <table border="1" data-bbox="1018 1283 1313 1608"> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>延床面積 (m²)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て支援施設</td> <td>4096.0</td> <td>66.6%</td> </tr> <tr> <td>社会教育系施設</td> <td>1632.2</td> <td>26.6%</td> </tr> <tr> <td>保健・福祉施設</td> <td>418.0</td> <td>6.8%</td> </tr> </tbody> </table>	施設種別	延床面積 (m ²)	割合 (%)	子育て支援施設	4096.0	66.6%	社会教育系施設	1632.2	26.6%	保健・福祉施設	418.0	6.8%																																																			
施設種別	延床面積 (m ²)	割合 (%)																																																														
子育て支援施設	4096.0	66.6%																																																														
社会教育系施設	1632.2	26.6%																																																														
保健・福祉施設	418.0	6.8%																																																														
<p>地域の特性</p>	<p>本地域は沖縄の大動脈である国道 58 号及び国道 330 号に挟まれ、伊祖の旧集落や牧港の旧市街地、伊祖・浅野浦の新市街地で構成される。また、商業・業務機能が集積した拠点と位置づけられており、ショッピングとビジネスなどが共存する複合型の都市形成の促進が図られる地域である。</p> <p>また、伊祖城跡や古墓群、貝塚等多数の歴史、文化財を有しているため、伊祖城跡を中心とした歴史的空間の形成を図る地域として位置づけられている。</p>																																																															

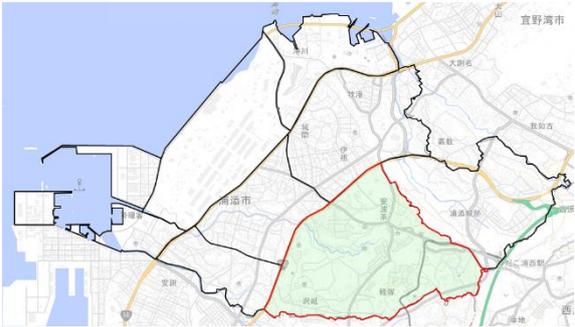
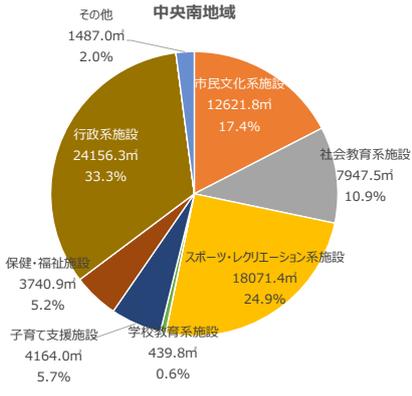
施設 立地 状況		
施設 評価		
	維持継続	港川放課後児童健全育成施設、浦城放課後児童健全育成施設、浦添市立浦城っ子児童センター、浦添市立まちなと児童センター、浦城こども園、牧港幼稚園、港川幼稚園
	更新検討	浦添市立中央公民館分館
	利用検討	浦添市立若草児童センター
	用途廃止	—

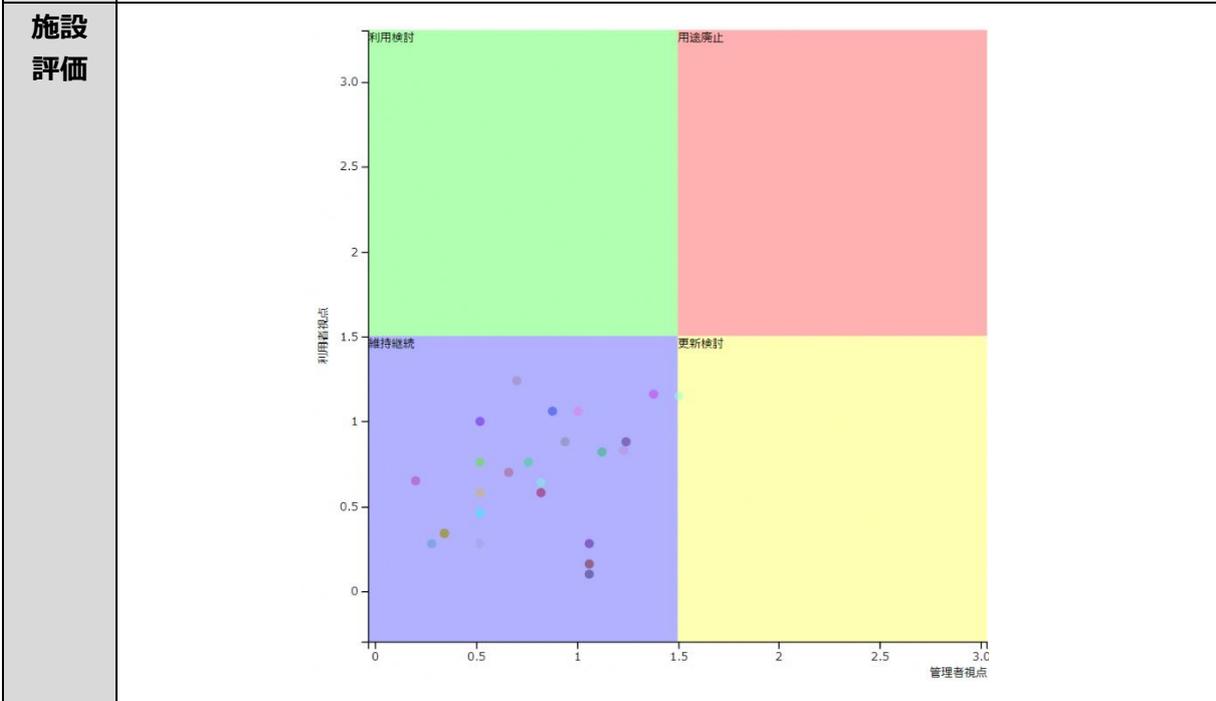
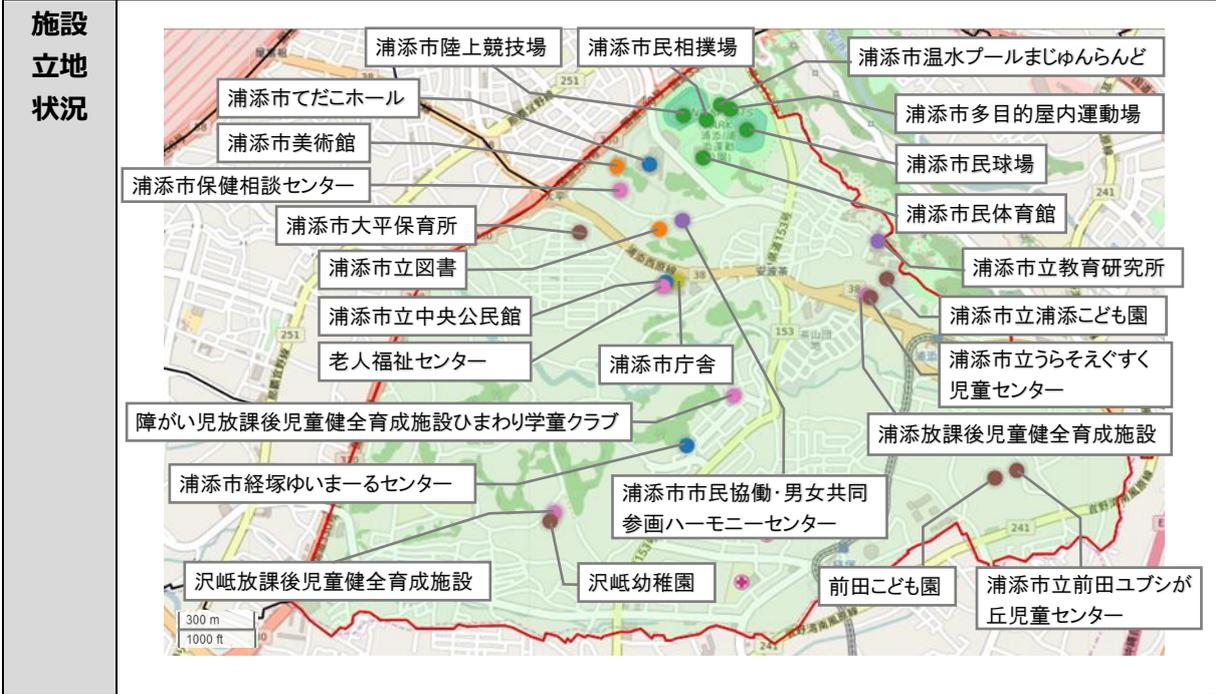
(3) 東地域

概要	位置図																												
<p>【人口】 (平成 31 年度時点)</p> <p>総人口 : 15,473 人</p> <p>年少人口 : 2,943 人 (19.0%)</p> <p>生産年齢人口 : 9,852 人 (63.7%)</p> <p>老年人口 : 2,677 人 (17.3%)</p> <p>【将来人口推計】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2035</th> <th>2040</th> <th>2045</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年少人口</td> <td>18.3%</td> <td>15.9%</td> <td>14.0%</td> <td>13.7%</td> <td>13.9%</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>生産年齢人口</td> <td>63.3%</td> <td>61.8%</td> <td>60.4%</td> <td>57.4%</td> <td>53.3%</td> <td>50.3%</td> </tr> <tr> <td>老年人口</td> <td>18.4%</td> <td>22.3%</td> <td>25.6%</td> <td>29.0%</td> <td>32.8%</td> <td>35.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>東地域</p> <p>地域区分 : 国道 330 号以南かつ浦添大公園以東の地域</p> <p>構成大字 : 西原、当山、前田、仲間、伊祖</p>		2020	2025	2030	2035	2040	2045	年少人口	18.3%	15.9%	14.0%	13.7%	13.9%	14.1%	生産年齢人口	63.3%	61.8%	60.4%	57.4%	53.3%	50.3%	老年人口	18.4%	22.3%	25.6%	29.0%	32.8%	35.6%	
	2020	2025	2030	2035	2040	2045																							
年少人口	18.3%	15.9%	14.0%	13.7%	13.9%	14.1%																							
生産年齢人口	63.3%	61.8%	60.4%	57.4%	53.3%	50.3%																							
老年人口	18.4%	22.3%	25.6%	29.0%	32.8%	35.6%																							
地区利用	<ul style="list-style-type: none"> ・県道 241 号線沿線で商業・業務施設の立地が見られる。 ・また大規模な斜面緑地が浦添大公園、浦添墓地公園等の公園として残されている。 ・牧港川の上流には一部農地が残っている。 																												
施設の状況	<p>延床面積 : 11,665.2 m² (地域人口 1 人当たり 2.13 m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>延床面積 (m²)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校教育系施設</td> <td>4633.3</td> <td>39.7%</td> </tr> <tr> <td>行政系施設</td> <td>3312.9</td> <td>28.4%</td> </tr> <tr> <td>保健・福祉施設</td> <td>1966.8</td> <td>16.9%</td> </tr> <tr> <td>子育て支援施設</td> <td>1457.5</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>社会教育系施設</td> <td>294.8</td> <td>2.5%</td> </tr> </tbody> </table>	施設種別	延床面積 (m ²)	割合 (%)	学校教育系施設	4633.3	39.7%	行政系施設	3312.9	28.4%	保健・福祉施設	1966.8	16.9%	子育て支援施設	1457.5	12.5%	社会教育系施設	294.8	2.5%										
施設種別	延床面積 (m ²)	割合 (%)																											
学校教育系施設	4633.3	39.7%																											
行政系施設	3312.9	28.4%																											
保健・福祉施設	1966.8	16.9%																											
子育て支援施設	1457.5	12.5%																											
社会教育系施設	294.8	2.5%																											
地域の特性	<p>本地域は、浦添大公園以東に位置し、西原、当山などの旧集落、区画整理事業による市街地によって形成されている。</p> <p>沖縄自動車道の西原 I.C. が立地し、広域交通の玄関口としてのポテンシャルを有している。また沖縄都市モノレールが延長し、「てだこ浦西駅」が整備され、駅周辺の区画整理事業が進められている。浦添大公園は、親水性の高い河川整備も進められているなど水と緑に親しみやすい空間が形成され、住民の憩いの場となっている。</p> <p>本地域には、浦添城跡があり、中央北地域にある伊祖城跡とともに歴史文化拠点の地域として位置付けされている。</p>																												

<p>施設 立地 状況</p>									
<p>施設 評価</p>									
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="304 1666 454 1848">維持継続</td> <td data-bbox="454 1666 1394 1848">浦添市消防本部、浦添グスク・ようどれ館、浦添市立学校給食浦添共同調理場、浦添市立学校給食当山共同調理場、当山幼稚園、浦添市施設型共同墓、浦添市かりゆしセンター、浦添市立西原児童センター、当山放課後児童健全育成施設</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 1848 454 1899">更新検討</td> <td data-bbox="454 1848 1394 1899">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 1899 454 1951">利用検討</td> <td data-bbox="454 1899 1394 1951">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 1951 454 2002">用途廃止</td> <td data-bbox="454 1951 1394 2002">—</td> </tr> </table>	維持継続	浦添市消防本部、浦添グスク・ようどれ館、浦添市立学校給食浦添共同調理場、浦添市立学校給食当山共同調理場、当山幼稚園、浦添市施設型共同墓、浦添市かりゆしセンター、浦添市立西原児童センター、当山放課後児童健全育成施設	更新検討	—	利用検討	—	用途廃止	—
維持継続	浦添市消防本部、浦添グスク・ようどれ館、浦添市立学校給食浦添共同調理場、浦添市立学校給食当山共同調理場、当山幼稚園、浦添市施設型共同墓、浦添市かりゆしセンター、浦添市立西原児童センター、当山放課後児童健全育成施設								
更新検討	—								
利用検討	—								
用途廃止	—								

(4) 中央南地域

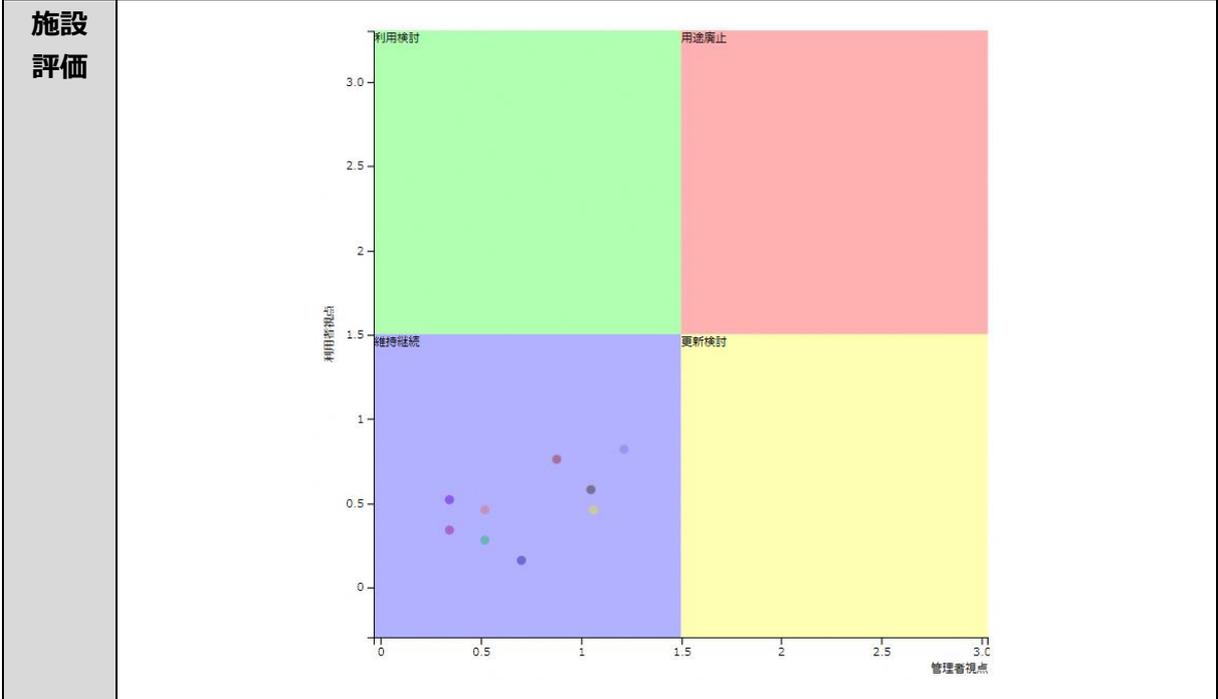
概要	位置図																												
<p>【人口】 (平成 31 年度時点)</p> <p>総人口 : 25,924 人</p> <p>年少人口 : 4,626 人 (17.8%)</p> <p>生産年齢人口 : 16,019 人 (61.8%)</p> <p>老年人口 : 5,280 人 (20.4%)</p> <p>【将来人口推計】</p> <table border="1" data-bbox="204 542 778 627"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2035</th> <th>2040</th> <th>2045</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年少人口</td> <td>17.7%</td> <td>16.4%</td> <td>15.2%</td> <td>15.0%</td> <td>15.0%</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>生産年齢人口</td> <td>61.3%</td> <td>60.4%</td> <td>59.6%</td> <td>58.0%</td> <td>55.3%</td> <td>53.9%</td> </tr> <tr> <td>老年人口</td> <td>21.1%</td> <td>23.2%</td> <td>25.2%</td> <td>27.0%</td> <td>29.7%</td> <td>30.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>中央南地域</p>  <p>地域区分 : 国道 330 号以南の行政等の公共・公益施設が集約する地域</p> <p>構成大字 : 安波茶、仲間、前田、経塚、大平、沢岬、伊祖</p>		2020	2025	2030	2035	2040	2045	年少人口	17.7%	16.4%	15.2%	15.0%	15.0%	15.2%	生産年齢人口	61.3%	60.4%	59.6%	58.0%	55.3%	53.9%	老年人口	21.1%	23.2%	25.2%	27.0%	29.7%	30.9%	 <p>地域区分 : 国道 330 号以南の行政等の公共・公益施設が集約する地域</p> <p>構成大字 : 安波茶、仲間、前田、経塚、大平、沢岬、伊祖</p>
	2020	2025	2030	2035	2040	2045																							
年少人口	17.7%	16.4%	15.2%	15.0%	15.0%	15.2%																							
生産年齢人口	61.3%	60.4%	59.6%	58.0%	55.3%	53.9%																							
老年人口	21.1%	23.2%	25.2%	27.0%	29.7%	30.9%																							
<p>地区利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・浦添の行政・文化の中心となる浦添西原線では、中央公民館、てだこホール、美術館、図書館等の公共施設が集約している。 ・丘陵地には斜面林に囲まれた良好な住宅地が広がっている。 ・浦添西原線と県道 153 号線沿線の一部に商業系の土地利用が見られる。 ・地区南側では土地区画整理事業により、新たな住宅地が形成されている。 																												
<p>施設の状況</p>	<p>延床面積 : 72,628.6 m² (地域人口 1 人当たり 2.80 m²)</p>  <table border="1" data-bbox="973 1317 1385 1713"> <thead> <tr> <th>施設種別</th> <th>延床面積 (m²)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政系施設</td> <td>24156.3</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>市民文化系施設</td> <td>12621.8</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>社会教育系施設</td> <td>7947.5</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・レクリエーション系施設</td> <td>18071.4</td> <td>24.9%</td> </tr> <tr> <td>保健・福祉施設</td> <td>3740.9</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>子育て支援施設</td> <td>4164.0</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>学校教育系施設</td> <td>439.8</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1487.0</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table>	施設種別	延床面積 (m ²)	割合 (%)	行政系施設	24156.3	33.3%	市民文化系施設	12621.8	17.4%	社会教育系施設	7947.5	10.9%	スポーツ・レクリエーション系施設	18071.4	24.9%	保健・福祉施設	3740.9	5.2%	子育て支援施設	4164.0	5.7%	学校教育系施設	439.8	0.6%	その他	1487.0	2.0%	
施設種別	延床面積 (m ²)	割合 (%)																											
行政系施設	24156.3	33.3%																											
市民文化系施設	12621.8	17.4%																											
社会教育系施設	7947.5	10.9%																											
スポーツ・レクリエーション系施設	18071.4	24.9%																											
保健・福祉施設	3740.9	5.2%																											
子育て支援施設	4164.0	5.7%																											
学校教育系施設	439.8	0.6%																											
その他	1487.0	2.0%																											
<p>地域の特性</p>	<p>本地域は、浦添大公園から前田、沢岬にかけて広がる斜面緑地に囲まれた地域で、この斜面緑地は安波茶、前田、沢岬の集落を取り囲むクサティ森として人々の生活を守るとともに、良好な住環境を形成している。</p> <p>市役所や美術館などの主要な行政・文化施設が集積するカルチャーパーク、浦添運動公園、沖縄国際センター等、多様な都市機能が立地する地域となっており、市民生活を支える中心地としての役割を担っている。</p>																												



維持継続	浦添市庁舎、浦添市温水プールまじゅらんど、浦添市陸上競技場、浦添市民体育館、浦添市多目的屋内運動場、浦添市民相撲場、浦添市民球場、浦添市立中央公民館、浦添市立図書館、浦添市美術館、浦添市立教育研究所、浦添市立浦添こども園、前田こども園、浦添市てだこホール、浦添放課後児童健全育成施設、沢岬放課後児童健全育成施設、老人福祉センター、浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター、浦添市立うらそえぐすく児童センター、浦添市立前田ユブシが丘児童センター、浦添市経塚ゆいまーるセンター、浦添市大平保育所、障がい児放課後児童健全育成施設ひまわり学童クラブ、浦添市保健相談センター
更新検討	沢岬幼稚園
利用検討	—
用途廃止	—

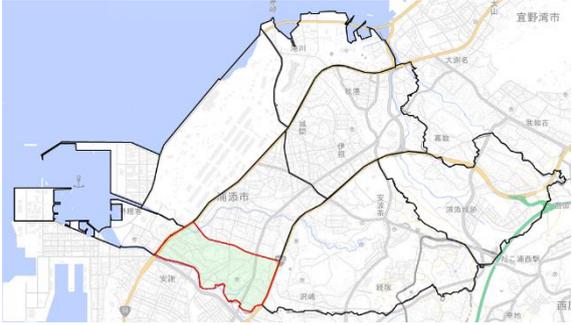
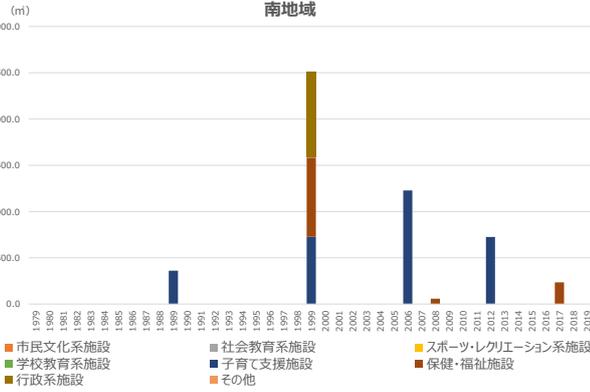
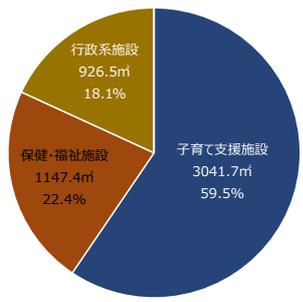
(5) 中央西地域

概要	位置図																												
<p>【人口】 (平成 31 年度時点)</p> <p>総人口 : 25,071 人</p> <p>年少人口 : 4,067 人 (16.2%)</p> <p>生産年齢人口 : 15,814 人 (63.1%)</p> <p>老年人口 : 5,280 人 (20.4%)</p> <p>【将来人口推計】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2035</th> <th>2040</th> <th>2045</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年少人口</td> <td>16.1%</td> <td>15.0%</td> <td>14.9%</td> <td>15.3%</td> <td>15.8%</td> <td>16.1%</td> </tr> <tr> <td>生産年齢人口</td> <td>63.1%</td> <td>62.3%</td> <td>60.5%</td> <td>58.2%</td> <td>55.4%</td> <td>54.3%</td> </tr> <tr> <td>老年人口</td> <td>20.8%</td> <td>22.7%</td> <td>24.7%</td> <td>26.5%</td> <td>28.8%</td> <td>29.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>中央西地域</p> <p>地域区分 : 国道 58 号、330 号、城間大通り、神森線に囲まれた旧市街地</p> <p>構成大字 : 屋富祖、城間、宮城、仲西、大平、沢岬、内間、勢理客</p>		2020	2025	2030	2035	2040	2045	年少人口	16.1%	15.0%	14.9%	15.3%	15.8%	16.1%	生産年齢人口	63.1%	62.3%	60.5%	58.2%	55.4%	54.3%	老年人口	20.8%	22.7%	24.7%	26.5%	28.8%	29.6%	
	2020	2025	2030	2035	2040	2045																							
年少人口	16.1%	15.0%	14.9%	15.3%	15.8%	16.1%																							
生産年齢人口	63.1%	62.3%	60.5%	58.2%	55.4%	54.3%																							
老年人口	20.8%	22.7%	24.7%	26.5%	28.8%	29.6%																							
地区利用	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 58 号、国道 330 号の一部及び屋富祖通り、パイプライン通りの沿線で商業系の土地利用の集積が見られる。 ・その他の市街地は住居系を中心とする土地利用が展開するが、地域内を横断する小湾川沿いに斜面緑地が見られる。 																												
施設の状況	<p>延床面積 : 8,352.9 m² (地域人口 1 人当たり 0.33 m²)</p> <p>中央西地域</p>																												
地域の特性	<p>本地域は、国道 58 号と国道 330 号、神森線、城間線に囲まれた地域で、小湾川から北の密集市街地と南の比較的新しい市街地に大別される。</p> <p>市街地は、国道 58 号や屋富祖通りを中心とした商業・業務地区が形成されているが、後背地の住宅地については 6m 未満、または 4m 未満の区画道路で形成され、行き止まり道路も見られるなど道路基盤上の課題が残る。</p>																												



維持継続	仲西こども園、宮城幼稚園、城間地区公民館、サン・アビリティーズうらそえ、 浦添市母子生活支援施設浦和寮、浦添市宮城ヶ原保育所、 仲西放課後児童健全育成施設、浦添市みやぎ希望の森コミュニティセンター
更新検討	—
利用検討	—
用途廃止	—

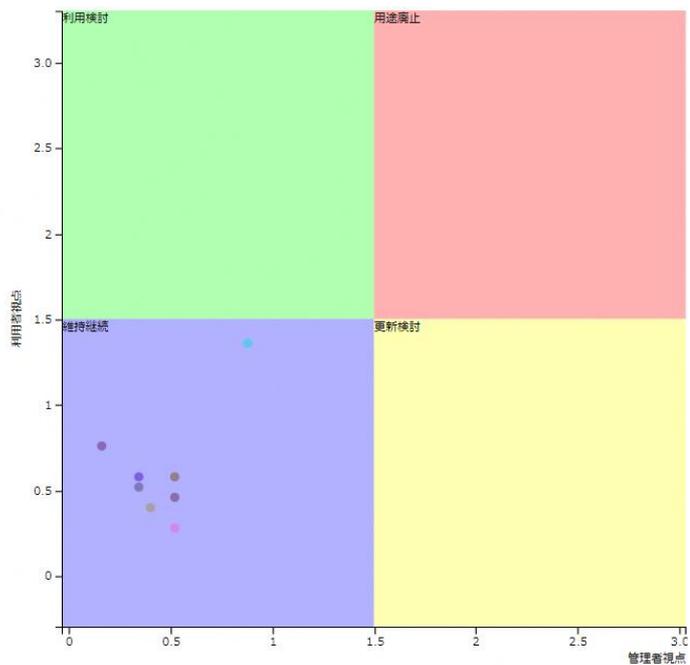
(6) 南地域

概要	位置図																											
<p>【人口】 (平成 31 年度時点)</p> <p>総人口 : 14,444 人</p> <p>年少人口 : 2,383 人 (16.5%)</p> <p>生産年齢人口 : 9,236 人 (63.9%)</p> <p>老年人口 : 2,825 人 (19.6%)</p>	 <p>地域区分 : 国道 58 号、330 号、安謝川に囲まれた旧市街地</p> <p>構成大字 : 内間、勢理客、沢岷、宮城、仲西、小湾</p>																											
<p>【将来人口推計】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2035</th> <th>2040</th> <th>2045</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年少人口</td> <td>16.0%</td> <td>14.9%</td> <td>14.1%</td> <td>13.7%</td> <td>13.2%</td> <td>12.4%</td> </tr> <tr> <td>生産年齢人口</td> <td>64.0%</td> <td>64.2%</td> <td>64.0%</td> <td>62.2%</td> <td>60.2%</td> <td>59.6%</td> </tr> <tr> <td>老年人口</td> <td>20.0%</td> <td>21.0%</td> <td>21.9%</td> <td>24.1%</td> <td>26.7%</td> <td>28.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">南地域</p> 			2020	2025	2030	2035	2040	2045	年少人口	16.0%	14.9%	14.1%	13.7%	13.2%	12.4%	生産年齢人口	64.0%	64.2%	64.0%	62.2%	60.2%	59.6%	老年人口	20.0%	21.0%	21.9%	24.1%	26.7%
	2020	2025	2030	2035	2040	2045																						
年少人口	16.0%	14.9%	14.1%	13.7%	13.2%	12.4%																						
生産年齢人口	64.0%	64.2%	64.0%	62.2%	60.2%	59.6%																						
老年人口	20.0%	21.0%	21.9%	24.1%	26.7%	28.0%																						
地区利用	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 58 号、パイプライン通り沿いに商業系の土地利用の集積が見られる。 ・その他の地区は、住居系を中心とした土地利用となっている。 																											
施設の状況	<p>延床面積 : 5,115.6 m² (地域人口 1 人当たり 0.35 m²)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>南地域</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>南地域</p>  </div> </div>																											
地域の特性	<p>本地域は、国道 58 号、国道 330 号、神森線に囲まれた市街地で、戦後のスプロールにより、都市基盤が十分でない箇所がみられる。また、地域に分散するクサティ森は、これら細街路の分断要素となっているが、古墓群や貝塚等の歴史文化資源が多く残っている緑地でもある。</p> <p>また、勢理客の獅子舞は国の無形文化財に指定され、十五夜には獅子舞が舞うなど地域の伝統文化として世代に受け継がれている地域である。</p>																											

施設
立地
状況

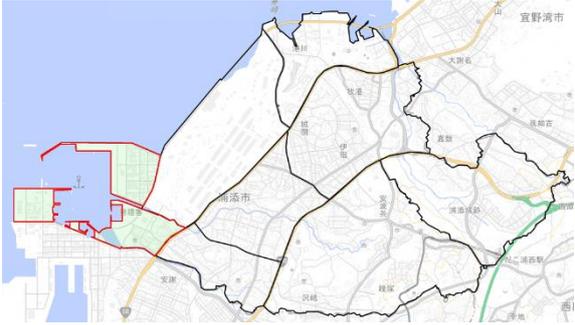
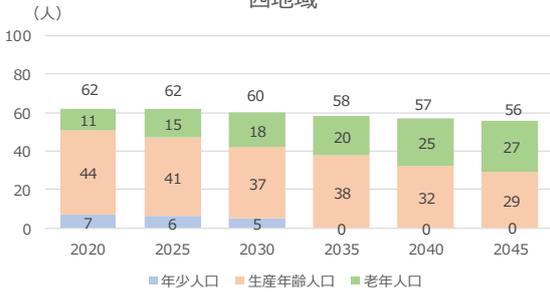
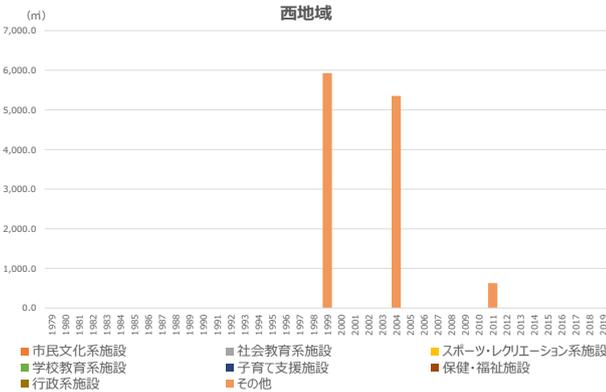
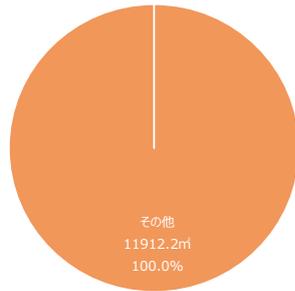


施設
評価



維持継続	内間出張所、神森こども園、内間こども園（公立幼稚園型認定こども園）、浦添市地域福祉センター、浦添市立内間児童センター、浦添市立森の子児童センター、浦添市内間保育所、神森放課後児童健全育成施設
更新検討	—
利用検討	—
用途廃止	—

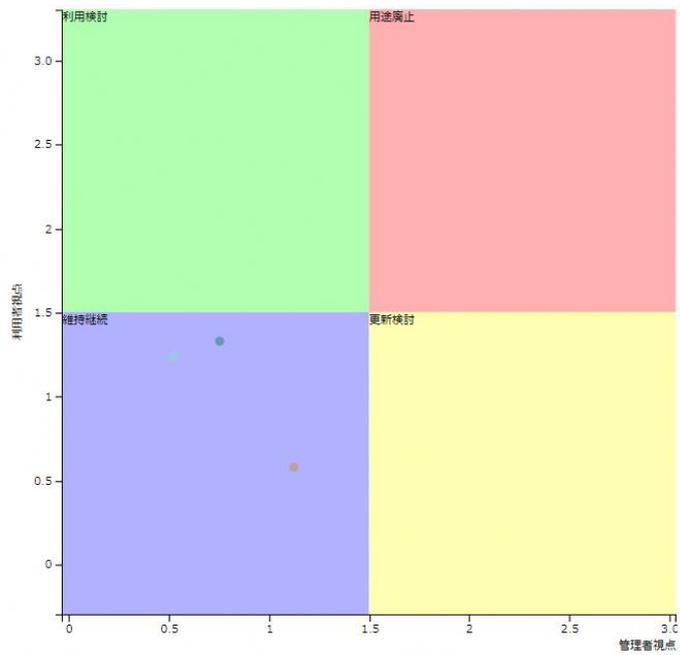
(7) 西地域

概要	位置図																											
<p>【人口】 (平成 31 年度時点)</p> <p>総人口 : 58 人</p> <p>年少人口 : 7 人 (12.1%)</p> <p>生産年齢人口 : 42 人 (72.4%)</p> <p>老年人口 : 9 人 (15.5%)</p>	 <p>地域区分 : 国道 58 号以西の勢理客地区および西海岸道路以西の公有水面埋立地区</p> <p>構成大字 : 勢理客、西洲</p>																											
<p>【将来人口推計】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2035</th> <th>2040</th> <th>2045</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年少人口</td> <td>11.3%</td> <td>9.7%</td> <td>8.3%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生産年齢人口</td> <td>71.0%</td> <td>66.1%</td> <td>61.7%</td> <td>65.5%</td> <td>56.1%</td> <td>51.8%</td> </tr> <tr> <td>老年人口</td> <td>17.7%</td> <td>24.2%</td> <td>30.0%</td> <td>34.5%</td> <td>43.9%</td> <td>48.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>西地域</p> 			2020	2025	2030	2035	2040	2045	年少人口	11.3%	9.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	生産年齢人口	71.0%	66.1%	61.7%	65.5%	56.1%	51.8%	老年人口	17.7%	24.2%	30.0%	34.5%	43.9%
	2020	2025	2030	2035	2040	2045																						
年少人口	11.3%	9.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%																						
生産年齢人口	71.0%	66.1%	61.7%	65.5%	56.1%	51.8%																						
老年人口	17.7%	24.2%	30.0%	34.5%	43.9%	48.2%																						
地区利用	<ul style="list-style-type: none"> ・勢理客地区は、工業・業務を中心とする土地利用が見られる。 ・西洲 2 丁目は特別業務地区に位置づけられ、流通業務を中心とする土地利用が見られる。 ・伊奈武瀬地区は、市のクリーンセンターが立地する。 ・国立劇場おきなわ等の文化施設が立地する。 																											
施設の状況	<p>延床面積 : 11,912.2 m² (地域人口 1 人当たり 205.38 m²)</p>  																											
地域の特性	<p>本地域は、港湾・流通・情報ゾーンという特性のエリアによって形成される。港湾・流通・情報ゾーンは、浦添ふ頭の拡充を図り、国際流通港湾として今後アジアを中心とした世界の窓口として位置づけられている。また、国立劇場おきなわ、産業支援センター・結の街が立地しており、沖縄県の伝統芸能の継承・発展に資する文化交流拠点として位置づけられている。</p>																											

施設
立地
状況

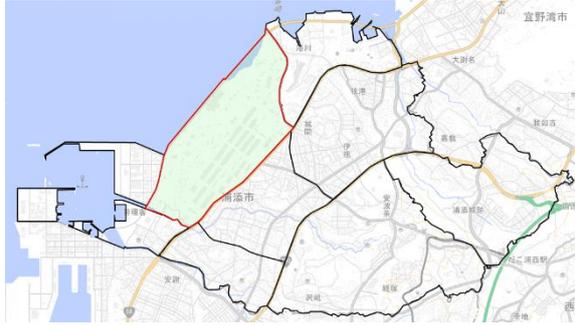
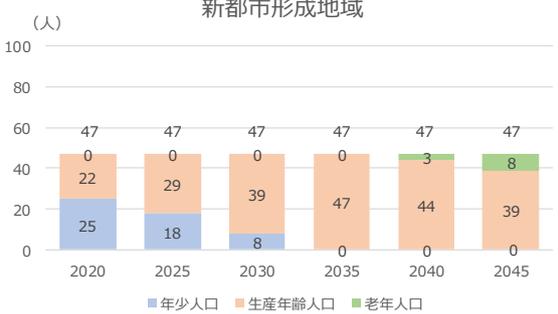


施設
評価

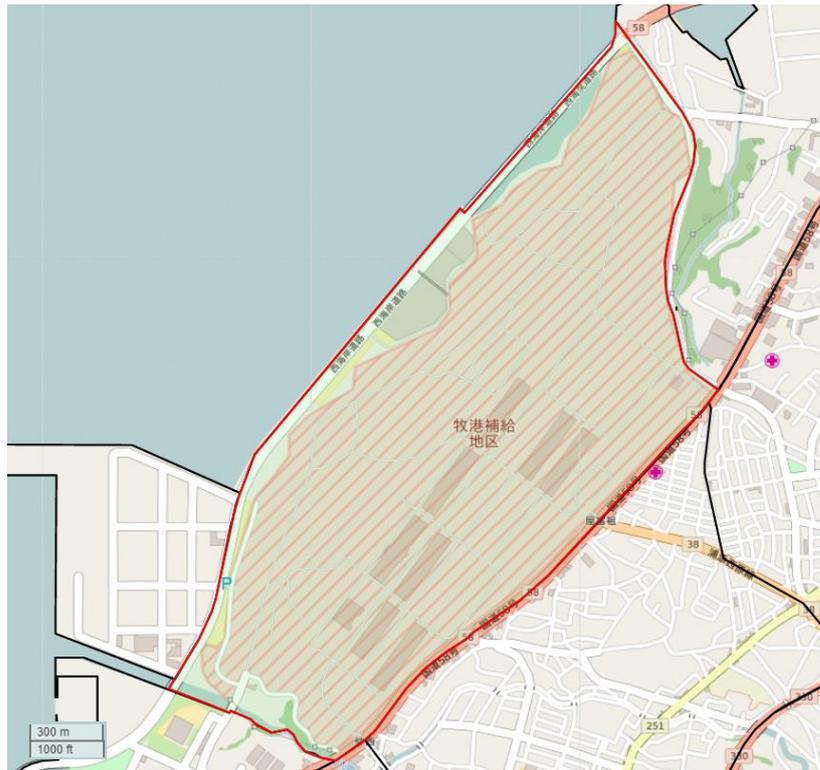


維持継続	浦添市産業振興センター・結の街、浦添市養蚕絹織物サン・シルク、浦添市リサイクルプラザ
更新検討	—
利用検討	—
用途廃止	—

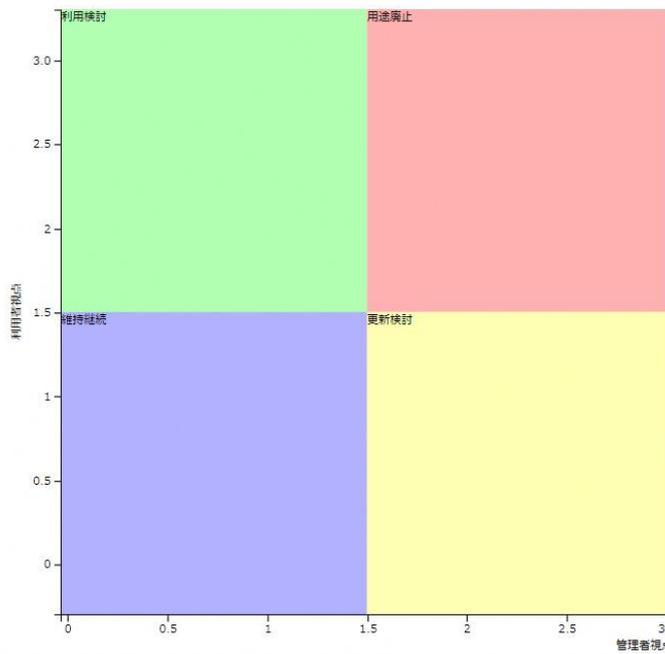
(8) 新都市形成地域

概要	位置図																																																								
<p>【人口】 (平成 31 年度時点)</p> <p>総人口 : 55 人</p> <p>年少人口 : 31 人 (56.4%)</p> <p>生産年齢人口 : 24 人 (43.6%)</p> <p>老年人口 : 0 人 (0.0%)</p>																																																									
<p>【将来人口推計】</p> <table border="1" data-bbox="204 539 778 629"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2025</th> <th>2030</th> <th>2035</th> <th>2040</th> <th>2045</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年少人口</td> <td>53.2%</td> <td>38.3%</td> <td>17.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>生産年齢人口</td> <td>46.8%</td> <td>61.7%</td> <td>83.0%</td> <td>100.0%</td> <td>93.6%</td> <td>83.0%</td> </tr> <tr> <td>老年人口</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>6.4%</td> <td>17.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>新都市形成地域</p>  <p>(人)</p> <table border="1" data-bbox="212 763 770 965"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>年少人口</th> <th>生産年齢人口</th> <th>老年人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020</td> <td>25</td> <td>22</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>18</td> <td>29</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2030</td> <td>8</td> <td>39</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2035</td> <td>0</td> <td>47</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2040</td> <td>0</td> <td>44</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2045</td> <td>0</td> <td>39</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 年少人口 ■ 生産年齢人口 ■ 老年人口</p>		2020	2025	2030	2035	2040	2045	年少人口	53.2%	38.3%	17.0%	0.0%	0.0%	0.0%	生産年齢人口	46.8%	61.7%	83.0%	100.0%	93.6%	83.0%	老年人口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.4%	17.0%	年	年少人口	生産年齢人口	老年人口	2020	25	22	0	2025	18	29	0	2030	8	39	0	2035	0	47	0	2040	0	44	3	2045	0	39	8	<p>地域区分 : 牧港補給地区全体及び西海岸道路 以東の公有水面埋め立て地区</p> <p>構成大字 : 港川、城間、屋富祖、宮城、仲西、小 湾</p>
	2020	2025	2030	2035	2040	2045																																																			
年少人口	53.2%	38.3%	17.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																																			
生産年齢人口	46.8%	61.7%	83.0%	100.0%	93.6%	83.0%																																																			
老年人口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.4%	17.0%																																																			
年	年少人口	生産年齢人口	老年人口																																																						
2020	25	22	0																																																						
2025	18	29	0																																																						
2030	8	39	0																																																						
2035	0	47	0																																																						
2040	0	44	3																																																						
2045	0	39	8																																																						
<p>地区 利用</p>	<p>—</p>																																																								
<p>施設 の状況</p>	<p>延床面積 : 0 m² (地域人口 1 人当たり 0 m²)</p> <p>対象施設なし</p>																																																								
<p>地域 の特性</p>	<p>本地域は、軍用地として戦後 75 年間使用され続けていることから、自然海岸や緑地、貝塚、古墓群が残されている。国道 58 号と西海岸道路に挟まれ、那覇空港へのアクセス性がよく、那覇港に接しているという立地条件から、沖縄県においても重要な役割を持つとともに浦添の新たな都市形成の場として期待されている。</p>																																																								

施設
立地
状況



施設
評価



維持継続

—

更新検討

—

利用検討

—

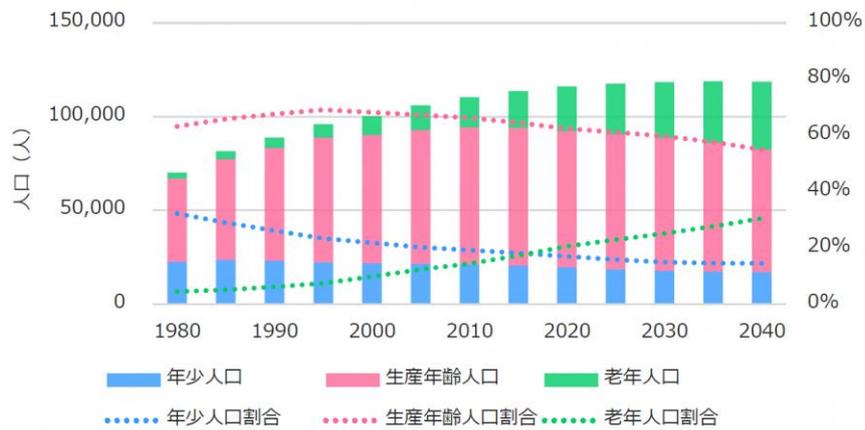
用途廃止

—

第3章 課題の整理

1. 人口の課題

日本全国で人口減少が続く中、本市の総人口は増加傾向にあります。しかし、年少人口や生産年齢人口の減少に対して、老年人口は増加するなど人口構成の変化が予測されており、将来の公共サービス需要を見据えた検討が必要と考えられます。



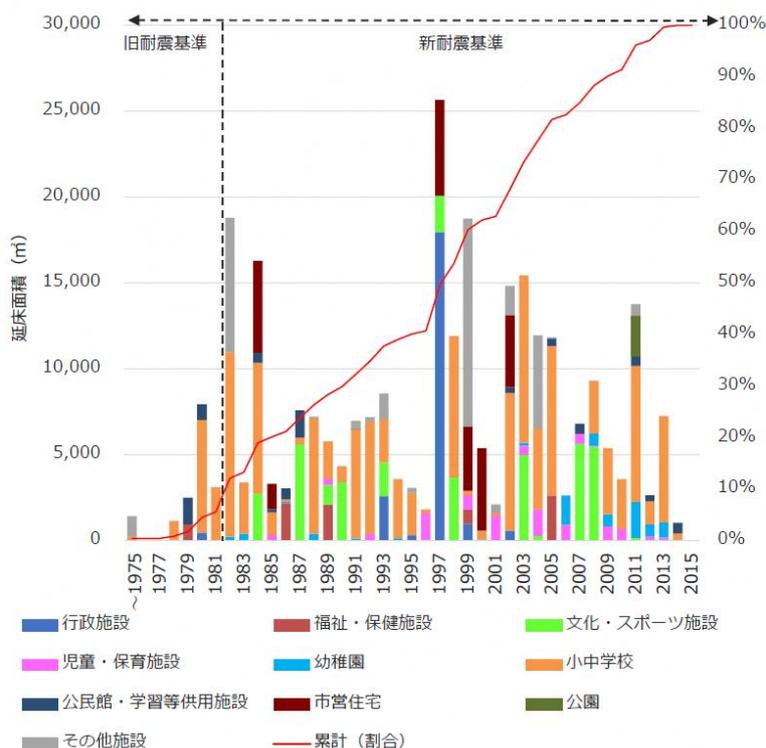
出典：浦添市人口ビジョン（平成28年2月）

2. 公共施設の課題

本市の保有する公共施設を建築年度別に見ると、新耐震基準（現在求められる耐震性能をほぼ満たしている基準）の建物が総延床面積の約94%を占めています。

保有施設の延床面積は、「小中学校」が全体の45%を占め最も大きく、次いで「文化・スポーツ施設」13%、「市営住宅」8%、「行政施設」8%となっています。

現時点では早急な更新の必要性は低いですが、中長期的には適切に維持管理する必要があります。



出典：浦添市公共施設等総合管理計画（平成28年6月）

3. 地域特性格の課題

各地域の特性は以下のとおりです。

地域	課題
① 北	<ul style="list-style-type: none"> ・産業や商業が集積するエリアとなっており、将来人口推計では 2045 年には 150%以上の増加と予測されている。 ・年少人口も 2 倍近く増加する見込みであり、今後、子育て支援施設が必要になる可能性がある。 ・公共施設は 2 施設のみであり、牧港出張所は「更新検討」の評価となっており、更新だけでなく防災拠点施設としての重要性を踏まえたうえで、他施設への移転や統廃合による総量縮減についても検討する必要がある。
② 中央北	<ul style="list-style-type: none"> ・総人口数が最も多い地域であり、将来人口推計では大きな増減はなく一定数で推移していくが、少子高齢化が進行すると予測される。 ・子育て支援施設が 6 割以上立地しており、比較的新しい施設が多い。 ・中央公民館分館は築年数が 40 年を迎えるため、老朽化が進行しており、施設評価も「更新検討」と評価され、更新だけでなく他施設への移転や統廃合による総量縮減についても検討する必要がある。
③ 東	<ul style="list-style-type: none"> ・将来人口推計では微減傾向が予測されており、高齢化率は 2040 年には 30%に達する予測である。 ・公共施設は 9 施設整備されており、学校教育系施設と子育て支援施設が半数以上を占めている。比較的新しい施設が多い。
④ 中央南	<ul style="list-style-type: none"> ・全地域の中で施設量が最も多く、計画対象施設の約 6 割が立地している。 ・総人口数が 2 番目に多い地域であり、将来人口推計は微増傾向が予測されているが、高齢化率は 2045 年には 30%に達すると予測される。 ・市内で最も公共施設量が多く、行政系施設やスポーツ・レクリエーション系施設など、大規模施設が集積しているが、1/4 の施設が築 30 年以上を経過していることから、地域の位置づけ、将来人口を考慮した将来的な施設のあり方を検討する必要がある。 ・沢岬幼稚園は「更新検討」の評価となっており、更新だけでなく他施設への移転や統廃合による総量縮減についても検討する必要がある。
⑤ 中央西	<ul style="list-style-type: none"> ・総人口数が 3 番目に多い地域であり、将来人口推計は微減傾向が予測されているが、年少人口については、概ね横ばいでの推移が予想されている。 ・地域内に 9 施設が立地しており、施設量は保健・福祉施設が約半数を占めており、次いで子育て支援施設が約 4 割を占めている。 ・築 30 年以上を経過している施設が約 4 割を占めており、将来的な施設のあり方を検討する必要がある。
⑥ 南	<ul style="list-style-type: none"> ・将来人口推計は少子高齢化が進行し、減少傾向が予測されている。 ・地域内に 9 施設が立地しており、施設量は子育て支援施設が 6 割以上を占めているが、将来の年少人口を踏まえ、将来的な施設のあり方について検討が必要で

地域	課題
	<p>ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・築 30 年を経過している施設もあり、適切に維持管理する必要がある。
⑦ 西	<ul style="list-style-type: none"> ・工業・業務を中心とする地域のため人口はわずかである。 ・将来人口推計は少子高齢化が進行し、微減傾向が予測されている。 ・施設数は 3 施設のみだが、施設量は 3 番目に多く、港湾部に立地している。 ・3 施設とも市街地からは離れているが、アクセス性は良いことから、立地特性を活かした将来的な利活用も検討する必要がある。
⑧ 新都市形成	<ul style="list-style-type: none"> ・人口はわずかであり、将来人口推計は微減傾向が予測されています。 ・地域のほとんどが軍用地であり、計画対象施設も立地していないが、近年は大型ショッピング施設が建設されており、那覇空港へのアクセス性がよく、那覇港に接しているという立地条件から、浦添市の新たな都市形成の場として期待される。

第4章 公共施設適正配置方針

1. 総合管理計画で定める公共施設マネジメントの基本方針

本計画の上位計画である総合管理計画では、人口減少や財源悪化などの社会経済情勢の変化の中で、持続可能な自治体経営を行うため、「品質」「供給」「財務」のバランスを取りながら、最適な公共施設の整備戦略を図るべく、「公共施設等マネジメントの基本方針」を次のとおり定めています。

(1) 「品質」に対する基本方針

「品質」に求められるマネジメントは、公共施設の適切な管理の実施による質の高い行政サービスの提供であり、民営化や指定管理の導入、施設の機能向上による長寿命化、定期的な点検や修繕の実施などを指します。そこで「品質」に対する基本方針を以下の通り定めます。

- I. 公共施設の「品質」が今後どうあるべきかを検討し、その方針を市民と共有します。
- II. 社会経済情勢などの変化に対応していくため、適宜計画の見直しを行うなど継続的に「品質」の向上を目指します。
- III. 「供給」との調整を図りつつ、現時点で「品質」が十分でない施設の対応を優先的に行います。

(2) 「供給」に対する基本方針

「供給」に求められるマネジメントは、本当に必要な施設の見極めや不足している行政サービスの拠点づくり、機能が重複する施設の集約化、施設の有効活用などを指します。そこで「供給」に対する基本方針を以下の通り定めます。

- I. まちづくりの観点から、市の総合計画と整合を図り施設整備を行います。
- II. 次世代に引き継ぐべき施設を選定し、「供給」の効率的な管理を行います。

(3) 「財務」に対する基本方針

「財務」に求められるマネジメントとは、「品質」「供給」の改善を実施する財源の確保であり、削減可能な費用の発見と対応、適切な維持管理を実現する予算の確保、民間企業や市民との協力体制による施設運用費の削減などが求められます。そこで「財務」に対する基本方針を以下の通り定めます。

- I. 長期的な視点から必要な「品質」については財源を確保します。
- II. 効率的な「供給」目標の実現により、投資の選択と集中を行い「財務」負担の削減を行います。
- III. 持続可能な自治体経営へ向けて、「財務」管理と健全化の強化を行います。

2. 適正配置方針

(1) 適正配置の基本方針

地域や公共施設等の多様な課題を克服し、適切なサービスを持続的に提供するためには、総合的な取り組みが必要であることから、次の4つの方針をもとに再配置に取り組むこととします。

① 保有総量の削減

人口推計結果を踏まえ既存施設の廃止や多機能化・複合化を進め、施設サービスの質は維持しつつ、現在の保有総量（市民一人当たり延床面積）を削減することとします。

また、新設や更新の際にも、他施設との多機能化・複合化を進め、将来的な保有総量を削減できるよう取組みます。

② 地域特性を踏まえた効率的な施設サービスの提供

現状の公共施設配置から、公共施設の立地状況、地域の人口動向、サービス圏域や利用者の利便性を考慮し、効率的・効果的な配置を目指します。また、市域を超えた広域的な利用範囲も視野に入れ、柔軟な再配置を検討します。

③ 長寿命化と安全確保・耐震化の実施及びユニバーサルデザイン化の推進

機能の必要性が高く、施設状態も良好な施設については、定期点検の実施、機能及び性能の劣化を事前に把握し、予防保全を含む計画的な改修により長寿命化を図ります。また、誰もが安心して快適に利用できるよう、公共施設の改修・更新等の際には、利用者ニーズや施設の状況を踏まえ、ユニバーサルデザイン※化を図ります。

④ 民間活力の積極的な導入検討

民間活力導入によって、サービスの向上やコスト削減の可能性のある施設については、導入効果や課題、行政運営の必要性等を検討した上で、指定管理者制度の導入や民間移管など、公民連携の導入を積極的に検討します。

特に、民間が運営することで効果的なサービスを提供できる施設については、民間による運営や施設の譲渡等を積極的に検討し、また、機能集約等により余裕が生じた施設や廃止した施設は、サービスの財源確保のため売却、貸付等を目指します。

※ユニバーサルデザイン：障害の有無、年齢、性別、国籍等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境を作り上げることをいう。

(2) 再配置の検討

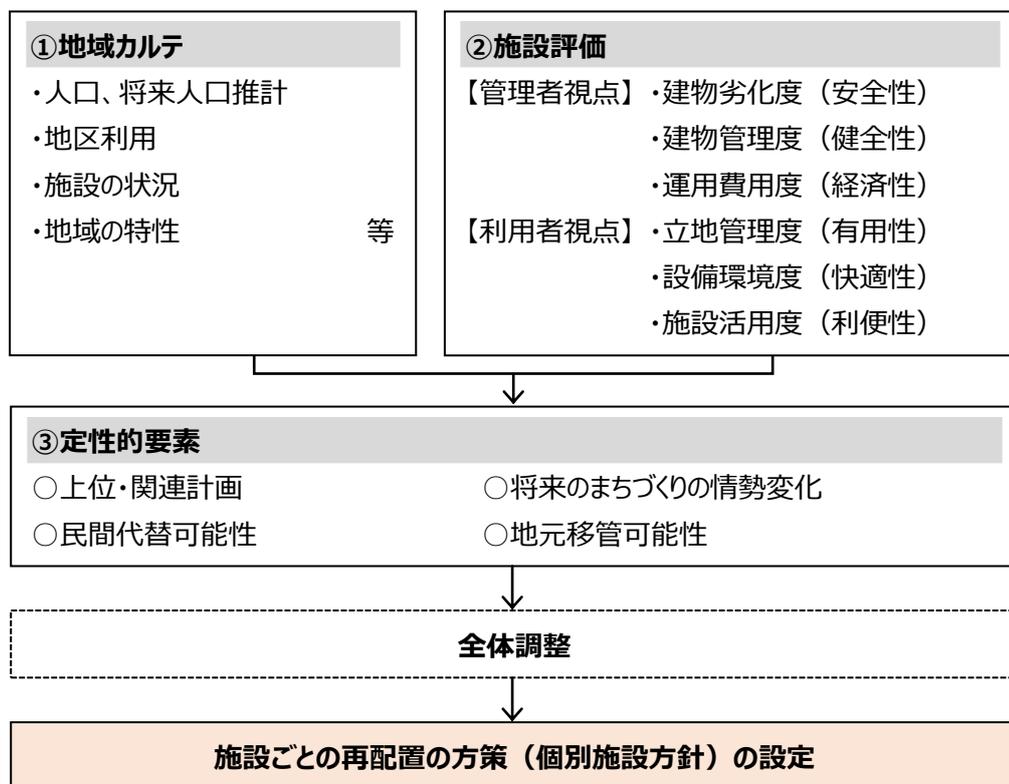
①再配置検討の流れ

再配置の取り組みの方向性を定めるにあたり、公共施設の状態や機能の充足の状況について、客観的なデータをもとに検討する必要があります。

「第2章 地域別施設配置状況等の整理」において整理した地域の状況及び施設評価[※]の結果を再配置検討の基礎的な情報とし、さらに、それらの情報と上位関連計画の位置づけなどの定性的な要素を踏まえた総合的な評価を行い、施設ごとの再配置の方策（個別施設方針）を定めます。

※公共施設等総合管理計画と同様に XPFM の機能を活用して評価

■ 施設評価のフロー



②施設評価

施設評価においては、「管理者視点の評価」（建物劣化度（安全性）、建物管理度（健全度）、運用費用度（経済性））と「利用者視点の評価」（設備管理度（快適性）、立地環境度（利便性）、施設活用度（活用性））の2つの視点からポートフォリオ分析による施設評価を行います。

施設評価は下表の4項目に判定され、本計画においては「利用検討」、「更新検討」と位置付けられた施設を優先的に用途変更や多機能化・複合化を検討することとします。

判定	内容	対象施設
維持継続	利用者視点からも管理者視点からも評価が高く、今後も保有すべき施設として積極的に維持を行う施設	(下記以外、62施設)
利用検討	施設状態は悪くないが、利用状況は良くないと考えられるため、 用途変更や統廃合による有効活用を検討すべき施設	○浦添市立若草児童センター
更新検討	利用状況は悪くないが、施設状態は良くないと考えられるため、 更新だけでなく他施設への移転や統廃合による総量縮減を検討すべき施設	○牧港出張所 ○沢岬幼稚園 ○浦添市立中央公民館分館
用途廃止	利用者目線からも管理者視点からも評価が低く、用途廃止を前提に施設の除却や売却を検討すべき施設	(対象無し)

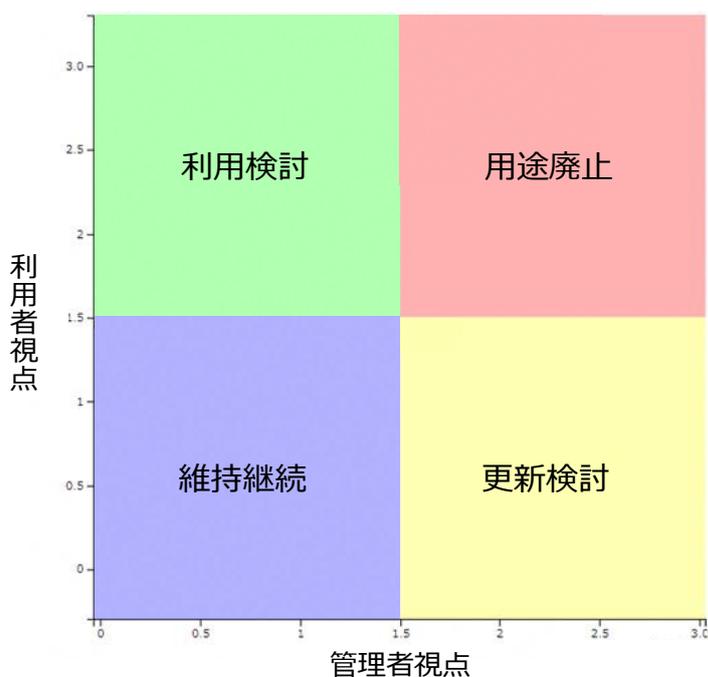


図 施設評価ポートフォリオ分析

③ 定性的要素の視点

施設の特性、既存の関連計画など、下表の定性的な事項による視点で検討を行います。

項目	評価項目
上位・関連計画	・法令、計画等での位置づけ
地理的特性	・今後も立地は適切か ・利用圏域の中で、同種、同類の施設は存在するか
将来のまちづくりの情勢変化	・サービス変化の見通しはどうか ・人口推計を踏まえ、利用の見込み ・施設の老朽化等への対応や利用推移等、収支の見込み
代替可能性	・公民連携が可能な施設か ・管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か ・民間施設等を活用した利用補助等の新たな代替施策で対応できるか

(3) 圏域の設定

施設の重複を解消し、運営効率を向上するため、施設サービスの標準的な提供範囲として圏域を設定し、地域における施設の効率化を図ります。

施設数、施設規模、機能等により、圏域を「全市」、「地域」に分類し、以下のサービス提供範囲を設定します。

表 圏域の概要

圏域	説明
全市	<ul style="list-style-type: none"> • 市に一つ又は複数あり、比較的、規模の大きい施設。 • 都市機能を提供する施設であり、市全域からの利用に加え、市外からの利用も想定される施設。 • 同じ機能を有する施設が複数存在している場合は、機能統合を図り、建替え時期を迎える際に適正な規模、機能分担、配置等について検討する。 • 複数の自治体で共同運営が考えられる施設は、施設の広域化を検討する。
地域	<ul style="list-style-type: none"> • 主に地域の方の利用が想定される施設。 • 日常生活の範囲（半径2～4キロメートル[※]）を圏域とし、圏域内の重複を解消し、業務効率化や機能強化を図る。 • 地域に複数の施設がある場合は、複合化または集約化を基本として、各地域の実情に応じた適切なあり方を検討する。 <p>※国土交通省では、公共公益的施設のサービスが及ぶ圏域範囲として一次生活圏（半径4～6キロメートル）を設定しており、また、文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」では、小学校の通学距離は一般的に4キロメートル以内としていることから、圏域を「半径2～4キロメートル」程度とする。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 特殊な用途で特定の職員、住民のみが利用する施設は、例外として圏域を定めないその他の施設とする。他施設との機能集約等が困難な施設でもある。

表 対象施設

圏域	施設用途分類	施設
全市	市民文化系施設	浦添市てだこホール
	社会教育系施設	浦添市立中央公民館、歴史にふれる館、浦添市立図書館、浦添市美術館、浦添グスク・ようどれ館
	スポーツ・レクリエーション系施設	浦添市温水プールまじゅんらんど、浦添市陸上競技場、浦添市民体育館 浦添市多目的屋内運動場、浦添市民相撲場、浦添市民球場
	保健・福祉施設	浦添市地域福祉センター、サン・アビリティーズうらそえ 浦添市かりゆしセンター、浦添市老人福祉センター 浦添市保健相談センター
	行政系施設	浦添市庁舎
	その他	浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター、 浦添市施設型共同墓、浦添市リサイクルプラザ、 浦添市産業振興センター・結の街、浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク
地域	市民文化系施設	浦添市経塚ゆいまーるセンター、浦添市みやぎ希望の森コミュニティセンター
	社会教育系施設	城間地区公民館、浦添市立中央公民館分館
	子育て支援施設	浦添市立若草児童センター、浦添市立内間児童センター、 浦添市立西原児童センター、浦添市立宮城ヶ原児童センター、 浦添市立まちなど児童センター、浦添市立浦城っ子児童センター、 浦添市立森の子児童センター、浦添市立うらそえぐすく児童センター、 浦添市立前田ユブシが丘児童センター、浦添市内間保育所、 浦添市大平保育所、浦添市宮城ヶ原保育所、 仲西こども園（公私連携幼保連携型認定こども園）、 神森こども園（公私連携幼保連携型認定こども園）、 浦添市立浦添こども園、 浦城こども園（公私連携幼保連携型認定こども園）、牧港幼稚園、 当山幼稚園、内間こども園（公立幼稚園型認定こども園）、 港川幼稚園、沢岬幼稚園、宮城幼稚園、 前田こども園（公私連携幼保連携型認定こども園）
	保健・福祉施設	障がい児放課後児童健全育成施設ひまわり学童クラブ、 仲西放課後児童健全育成施設、神森放課後児童健全育成施設、 浦城放課後児童健全育成施設、当山放課後児童健全育成施設、 港川放課後児童健全育成施設、浦添放課後児童健全育成施設、 沢岬放課後児童健全育成施設
	行政系施設	浦添市消防本部、内間出張所、牧港出張所
その他	学校教育系施設	浦添市立教育研究所、浦添市立学校給食浦添共同調理場、 浦添市立学校給食当山共同調理場
	保健・福祉施設	浦添市母子生活支援施設浦和寮

3. 再配置方策の検討

再配置に向けた検討を進める具体的な方策は、以下のとおりです。施設評価を基本として、再配置方策を検討します。ただし、定性的要素の視点から変更することがあります。

■再配置の方策一覧

施設評価				再配置方策	方策の説明
維持 継続	更新 検討	利用 検討	用途 廃止		
●				① 長寿命化	計画的に日常修繕・大規模改修を行うことで、建物の劣化進行を遅らせ、建物を延命化させる。
	●			② 建替え	大規模改修は実施せずに日常修繕を行い建物の耐用年数が訪れた時点で建替えを行う。
	●	● (全市)		③ 集約化	同じサービス・機能を持つ複数の施設を集めて1つの施設とする。
	●			④ 複合化	サービス・機能が異なる複数の施設を、1つの建物の余剰・余裕スペースに集約する。
	●	● (全市)		⑤ 規模縮減	建替え時や大規模改修時に、人口動向や利用実態等に基づき、施設規模やサービスなどを縮減する。
	●			⑥ 民間施設の活用	サービスの提供に民間施設を活用する。
	●			⑦ 機能転用	既存施設の空きスペースに他の用途の施設サービスを移転する。
	●			⑧ 広域相互利用	行政や地区の枠に捉われないこと、近隣自治体と施設を相互利用する
		●	●	⑨ 廃止	施設を廃止する。
		●	●	⑩ 譲渡	建物や跡地等を民間等へ譲渡する。

第 5 章 適正配置計画

1. 地域別適正配置計画

(1) 北地域

①基本情報

地域 特性	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は沖縄の背骨ともいえる国道 58 号と海に囲まれており、海岸部においては、西海岸道路の全線開通の整備が進められる一方で、カーミージーをはじめとした豊かな海浜環境や、シリンカーとその周辺緑地など、自然が多く残る地域である。 ・海岸沿いには、電力会社等をはじめとする産業が集積し、沿岸域には牧港漁港等の水産業が立地している。空寿崎周辺には、海浜公園の整備予定があり、今後は自然環境の保全や活用を図る地区として期待される。また、米軍住宅のなごりであるサンハイツ地区や崎原地区があり、シリンカー沿いの緑豊かな低層住宅地等、良好な住宅地も見られる。
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・産業や商業が集積するエリアとなっており、将来人口推計では 2045 年には 150%以上の増加と予測されている。 ・年少人口も 2 倍近く増加する見込みであり、今後、子育て支援施設が必要になる可能性がある。 ・公共施設は 2 施設のみであり、牧港出張所は「更新検討」の評価となっており、更新だけでなく防災拠点施設としての重要性を踏まえたうえで、他施設への移転や統廃合による総量縮減についても検討する必要がある。

②今後の方向性

施設名	分類	圏域	施設評価	再配置方策 [※]
牧港出張所	行政系施設	地域	更新検討	長寿命化 ➡老朽化が進行しているが、令和 2,3 年度に耐震改修を予定しており、防災拠点施設としての重要性を踏まえたうえで、地域の安全を守る必要不可欠な施設であることから、「長寿命化」とする。
歴史にふれる館	社会教育系施設	全市	維持継続	長寿命化

※ P33「3. 再配置方策の検討」より設定

(2) 中央北地域

① 基本情報

地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は沖縄の大動脈である国道 58 号及び国道 330 号に挟まれ、伊祖の旧集落や牧港の旧市街地、伊祖・浅野浦の新市街地で構成される。また、商業・業務機能が集積した拠点と位置づけされており、ショッピングとビジネスなどが共存する複合型の都市形成の促進が図られる地域である。 ・また、伊祖城跡や古墓群、貝塚等多数の歴史、文化財を有しているため、伊祖城跡を中心とした歴史的空間の形成を図る地域として位置づけされている。
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・総人口数が最も多い地域であり、将来人口推計では大きな増減はなく一定数で推移していくが、少子高齢化が進行すると予測される。 ・子育て支援施設が 6 割以上立地しており、比較的新しい施設が多い。 ・中央公民館分館は築年数が 40 年を迎えるため、老朽化が進行しており、施設評価も「更新検討」と評価され、更新だけでなく他施設への移転や統廃合による総量縮減についても検討する必要がある。

② 今後の方向性

施設名	分類	圏域	施設評価	再配置方策 [※]
浦添市立若草児童センター	子育て支援施設	地域	利用検討	長寿命化 →各小学校区に 1 施設を配置することから、改修して「長寿命化」とする。
浦添市立まちなと児童センター	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
浦添市立浦城っ子児童センター	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
浦城こども園 (公私連携幼保連携型認定こども園)	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
牧港幼稚園	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
港川幼稚園	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
浦添市立中央公民館分館	社会教育系施設	地域	更新検討	集約化 →地域内に限らず、地域外も含めたサービス・機能が異なる別施設と集約し、機能は維持しつつ、規模縮減を図る。
浦城放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	地域	維持継続	長寿命化
港川放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	地域	維持継続	長寿命化

※ P33「3. 再配置方策の検討」より設定

(3) 東地域

①基本情報

地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は、浦添大公園以東に位置し、西原、当山などの旧集落、区画整理事業による市街地によって形成されている。 ・沖縄自動車道の西原 I.C.が立地し、広域交通の玄関口としてのポテンシャルを有している。また今後新たな交通機能の導入として、沖縄都市モノレールの整備が行われ、駅周辺整備について検討がなされている。浦添大公園は、親水性の高い河川整備も進められているなど水と緑に親しみやすい空間が形成され、住民の憩いの場となっている。
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・将来人口推計では微減傾向が予測されており、高齢化率は 2040 年には 30%に達する予測である。 ・公共施設は 9 施設整備されており、学校教育系施設と子育て支援施設が半数以上を占めている。比較的新しい施設が多い。

②今後の方向性

施設名	分類	圏域	施設評価	再配置方策 [※]
浦添市立学校給食浦添共同調理場	学校教育系施設	その他	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市立学校給食当山共同調理場	学校教育系施設	その他	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市消防本部	行政系施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市立西原児童センター	子育て支援施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
当山幼稚園	子育て支援施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市施設型共同墓	その他	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添グスク・ようどれ館	社会教育系施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市かりゆしセンター	保健・福祉施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
当山放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>

※ P33「3. 再配置方策の検討」より設定

(4) 中央南地域

① 基本情報

地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は、浦添大公園から前田、沢岬にかけて広がる斜面緑地に囲まれた地域で、この斜面緑地は安波茶、前田、沢岬の集落を取り囲むクサティ森として人々の生活を守るとともに、良好な住環境を形成している。 ・市役所や美術館などの主要な行政・文化施設が集積するカルチャーパーク、浦添運動公園、沖縄国際センター等、多様な都市機能が立地する地域となっており、市民生活を支える中心地としての役割を担っている。
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全地域の中で施設量が最も多く、計画対象施設の約6割が立地している。 ・総人口数が2番目に多い地域であり、将来人口推計は微増傾向が予測されているが、高齢化率は2045年には30%に達すると予測される。 ・市内で最も公共施設量が多く、行政系施設やスポーツ・レクリエーション系施設など、大規模施設が集積しているが、1/4の施設が築30年以上を経過していることから、地域の位置づけ、将来人口を考慮した将来的な施設のあり方を検討する必要がある。 ・沢岬幼稚園は「更新検討」の評価となっており、更新だけでなく他施設への移転や統廃合による総量縮減についても検討する必要がある。

② 今後の方向性

施設名	分類	圏域	施設評価	再配置方策 [※]
浦添市立教育研究所	学校教育系施設	その他	維持継続	長寿命化
浦添市庁舎	行政系施設	全市	維持継続	長寿命化
浦添市立うらそえぐすく児童センター	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
浦添市立前田ユブシが丘児童センター	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
浦添市大平保育所	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
浦添市立浦添こども園	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
沢岬幼稚園	子育て支援施設	地域	更新検討	建替え ⇒利用状況は悪くないが、施設状態は良くないことから、耐用年数を迎えた時点で建替える。
前田こども園 (公私連携幼保連携型認定こども園)	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
浦添市経塚ゆいまーるセンター	市民文化系施設	地域	維持継続	長寿命化
浦添市てだこホール	市民文化系施設	全市	維持継続	長寿命化
浦添市立中央公民館	社会教育系施設	全市	維持継続	集約化 ⇒「維持継続」の施設評価だが、耐震性能に不安があることから、サービシ・機能が異なる別施設の余剰・余裕スペースに集約する。
浦添市立図書館	社会教育系施設	全市	維持継続	長寿命化

施設名	分類	圏域	施設評価	再配置方策 [※]
浦添市美術館	社会教育系施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市温水プールまじゅんらんど	スポーツ・レクリエーション系施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市陸上競技場	スポーツ・レクリエーション系施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市民体育館	スポーツ・レクリエーション系施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市多目的屋内運動場	スポーツ・レクリエーション系施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市民相撲場	スポーツ・レクリエーション系施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市民球場	スポーツ・レクリエーション系施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市老人福祉センター	保健・福祉施設	全市	維持継続	集約化 ➡「維持継続」の施設評価だが、耐震性能に不安があることから、地域内外のサービス・機能が異なる別施設と集約し、機能は維持しつつ、規模縮減を図る。
浦添市保健相談センター	保健・福祉施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
障がい児放課後児童健全育成施設 ひまわり学童クラブ	保健・福祉施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
沢岬放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市市民協働・男女共同参画 ハーモニーセンター	その他	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>

※ P33「3. 再配置方策の検討」より設定

(5) 中央西地域

① 基本情報

地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は、国道 58 号と国道 330 号、神森線、城間線に囲まれた地域で、小湾川から北の密集市街地と南の比較的新しい市街地に大別される。 ・市街地は、国道 58 号や屋富祖通りを中心とした商業・業務地区が形成されているが、後背地の住宅地については 6m未満、または 4m未満の区画道路で形成され、行き止まり道路も見られるなど道路基盤上の課題が残る。
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・総人口数が 3 番目に多い地域であり、将来人口推計は微減傾向が予測されているが、年少人口については、概ね横ばいでの推移が予想されている。 ・地域内に 9 施設が立地しており、施設量は保健・福祉施設が約半数を占めており、次いで子育て支援施設が約 4 割を占めている。 ・築 30 年以上を経過している施設が約 4 割を占めており、将来的な施設のあり方を検討する必要がある。

② 今後の方向性

施設名	分類	圏域	施設評価	再配置方策※
浦添市立宮城ヶ原児童センター	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
浦添市宮城ヶ原保育所	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
仲西こども園 (公私連携幼保連携型認定こども園)	子育て支援施設	地域	維持継続	長寿命化
宮城幼稚園	子育て支援施設	地域	維持継続	建替え →「維持継続」の施設評価だが、今後建替えも含めた公私連携幼保連携型認定こども園への移行を検討していることから、建替えとする。
浦添市みやぎ希望の森コミュニティセンター	市民文化系施設	地域	維持継続	長寿命化
城間地区公民館	社会教育系施設	地域	維持継続	長寿命化
サン・アビリティーズうらそえ	保健・福祉施設	全市	維持継続	長寿命化
仲西放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	地域	維持継続	長寿命化
浦添市母子生活支援施設浦和寮	保健・福祉施設	その他	維持継続	長寿命化

※ P33「3. 再配置方策の検討」より設定

(6) 南地域

① 基本情報

地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は、国道 58 号、国道 330 号、神森線に囲まれた市街地で、戦後のスプロールにより、都市基盤が十分でない箇所がみられる。また、地域に分散するクサティ森は、これら細街路の分断要素となっているが、古墓群や貝塚等の歴史文化資源が多く残っている緑地でもある。 ・また、勢理客の獅子舞は国の無形文化財に指定され、十五夜には獅子舞が舞うなど地域の伝統文化として世代に受け継がれている地域である。
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・将来人口推計は少子高齢化が進行し、減少傾向が予測されている。 ・地域内に 9 施設が立地しており、施設量は子育て支援施設が 6 割以上を占めているが、将来の年少人口を踏まえ、将来的な施設のあり方について検討が必要である。 ・築 30 年を経過している施設もあり、適切に維持管理する必要がある。

② 今後の方向性

施設名	分類	圏域	施設評価	再配置方策 [※]
内間出張所	行政系施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市立内間児童センター	子育て支援施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市立森の子児童センター	子育て支援施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市内間保育所	子育て支援施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
神森こども園 (公私連携幼保連携型認定こども園)	子育て支援施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
内間こども園 (公立幼稚園型認定こども園)	子育て支援施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市地域福祉センター	保健・福祉施設	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
神森放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>
内間放課後児童健全育成施設	保健・福祉施設	地域	維持継続	<u>長寿命化</u>

※ P33「3. 再配置方策の検討」より設定

(7) 西地域

① 基本情報

地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は、港湾・流通・情報ゾーンという特性のエリアによって形成される。港湾・流通・情報ゾーンは、浦添ふ頭の拡充を図り、国際流通港湾として今後アジアを中心とした世界の窓口として位置づけられている。また、国立劇場おきなわ、産業支援センター・結の街が立地しており、沖縄県の伝統芸能の継承・発展に資する文化交流拠点として位置づけられている。
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・工業・業務を中心とする地域のため人口はわずかである。 ・将来人口推計は少子高齢化が進行し、微減傾向が予測されている。 ・施設数は3施設のみだが、施設量は3番目に多く、港湾部に立地している。 ・3施設とも市街地からは離れているが、アクセス性は良いことから、立地特性を活かした将来的な利活用も検討する必要がある。

② 今後の方向性

施設名	分類	圏域	施設評価	再配置方策 [※]
浦添市リサイクルプラザ	その他	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市産業振興センター・結の街	その他	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>
浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク	その他	全市	維持継続	<u>長寿命化</u>

※ P33「3. 再配置方策の検討」より設定

(8) 新都市形成地域

① 基本情報

地域特性	<ul style="list-style-type: none">・本地域は、軍用地として戦後 60 年間使用され続けていることから、自然海岸や緑地、貝塚、古墓群が残されている。国道 58 号と西海岸道路に挟まれ、那覇空港へのアクセス性がよく、那覇港に接しているという立地条件から、沖縄県においても重要な役割を持つとともに浦添の新たな都市形成の場として期待されている。
地域課題	<ul style="list-style-type: none">・人口はわずかであり、将来人口推計は微減傾向が予測されています。・地域のほとんどが軍用地であり、計画対象施設も立地していないが、近年は大型ショッピング施設が建設されており、那覇空港へのアクセス性がよく、那覇港に接しているという立地条件から、浦添市の新たな都市形成の場として期待される。

② 今後の方向性

施設名	分類	圏域	施設評価	再配置方策
※対象施設無し	—	—	—	—

第6章 計画推進にあたって

(1) 公共施設等総合管理計画の見直し

平成 28 年度に策定した浦添市公共施設等総合管理計画については、策定の検討時点において把握可能な公共施設等の状態や取組状況等を整理し策定しましたが、本計画及び個別計画の策定に伴い実施した点検・診断や個別計画に記載した対策の内容等を反映させるなど、見直しを実施し順次充実させていく必要があります。また、本計画及び個別計画には学校施設、市営住宅が含まれておらず、別途計画を策定していることから、総合管理計画において公共施設全体を総合的に調整し、将来更新費用や削減目標等の検討が必要です。

(2) 公共ファシリティマネジメント推進チームによる事業推進

本市においては、経営戦略的な視点を持って公共施設を最適な状態で保有し、使用し、運用し、維持するための施策を推進する組織「浦添市公共 F M 推進チーム」を設置しています。

公共ファシリティマネジメントを推進していくにあたっては、全庁的に施設の最適化を図り、経営資源（人・モノ・カネ・情報）を有効活用することが必須であるため、浦添市公共 F M 推進チームが中心となり、各施設管理者と連携を図りながら事業を推進する必要があります。

(3) 事業計画（アクションプラン）の策定

本計画による適正配置の実行にあたっては、個別施設の再配置事業に係る事業計画（アクションプラン）を策定する必要があります。施設管理者と公共 F M 推進チームが連携を図りながら事業計画を策定するとともに、複数の施設や所管をまたがる総合的な再配置事業を実施する場合は、横断的な庁内体制のもと、公共 FM 推進チームが事業計画策定を支援します。

(4) PPP（公民連携）の推進

施設の適正配置事業を推進するにあたっては、PPP/PFI 手法など民間活力導入型の事業を検討します。その際、プラン策定段階から民間事業者への委託内容や望ましい事業形態など、民間事業者等の参加しやすい条件等について意見を聴取し、民間活力導入によるサービスの向上やコスト削減を検討します。

また、施設の余剰スペースや集約化により発生した余剰地の有効活用についても、民間提案制度により、民間の創意工夫等を最大限に活用した市民サービスの向上や地域経済の活性化を図れる事業提案を求め、実現に向けて取組みます。

■ (参考) 集約建替えの事業イメージ (事業スキーム)

